デジタルカメラ 保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

形名	HDC-1241	※ お買い上げ日	保証期間
		平成　年　月　日	本体：1年
※お客様	ご住所	〒　-	
	ご芳名	様	
※販売店	住所	〒　-	
	店名	TEL	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
  (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
  (ロ) お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
  (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
  (ニ) 車輛、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
  (ホ) 業務用に使用されて生じた故障または損傷。
  (ヘ) 本書のご提示がない場合。
  (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2. この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には P157 のご相談窓口にお問い合わせください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはP157のご相談窓口にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理によって使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
- このデジタルカメラの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後３年です。
- 補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29(アクロポリス東京)
TEL.03(3260)9611
FAX.03(3260)9739

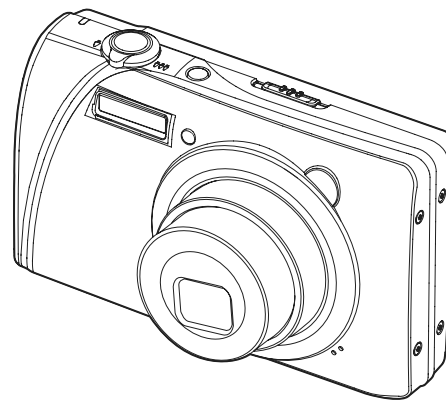
Hitachi Living Systemsは日立リビングサプライの英文社名です。

取扱説明書

保証書付 保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。
「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、
販売店からお受け取りください。

デジタルカメラ

HDC-1241形

このたびは、デジタルカメラ「HDC-1241」をお求めいただき、まことにありがとうございました。
ご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

クイックスタートガイド
「とにかく使ってみる」 P158
※はじめに(P6～P13)を必ずお読みいただき、正しくご使用ください。

目次

はじめに 6

基本操作編 27

カメラの基本的な操作を説明します。本項の内容で、カメラの基本的な操作を行うことができます。

応用操作編 63

より細かいカメラの設定内容について説明します。ご使用の目的に応じてお読みください。

パソコン接続編 123

パソコンに接続して画像ファイルを取り込む方法について説明します。

プリント編 135

PictBridge（ピクトブリッジ）に対応したプリンタに直接接続して、撮影した画像をプリントする方法について説明します。

付録 141

はじめに

■ 安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書の表示では、本製品（カメラ本体、ACアダプター、バッテリー、他付属品）を正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろ絵表示しています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

 このような絵表示は、していただきたい「注意」内容です。

 このような絵表示は、コンセントから必ず「電源プラグを抜く」ことを示します。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警　告

異常が起きたら、バッテリーを外す。
煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

ACアダプター使用時に、雷が鳴ったらACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く。
火災・発火・感電・故障の原因になります。

移動しながらの撮影は絶対にしない。
歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの使用はしないでください。転倒、交通事故などの原因になります。

不安定な場所に置かない。
バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。

内部に水や異物を落とさない。
水・異物が内部に入ったらバッテリーを外す。そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。

風呂、シャワー室、サウナ室では使用しない。
火災・感電の原因になります。

水や海水につけたり、端子部を濡らさない。
火災・感電の原因になります。

分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。落としたり、ケースが破損したときは使用しない。
火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

火に近づけたり、火の中に投げ込まない。
破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。

指定外のバッテリーおよびACアダプターを使用しない。
バッテリーの破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。

バッテリーを分解、加工、加熱しない。バッテリーを落としたり、衝撃を加えない。バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。
バッテリーの破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。

キーホルダーなどの金属類でバッテリーの端子を接触（ショート）させない。
発熱により、やけど、けがの原因になります。

指定外の方法でバッテリーを使用しない。
バッテリーは極性（⊕㊉⊖）表示どおりに入れてください。

⚠警　告

お子様の手の届かないところで使用・保管する。
乳幼児が誤ってバッテリーを飲み込まないよう、乳幼児の手の届かないところで使用・保管してください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師の治療を受けてください。

落下などにより、ストロボ部分が破損した場合は、内部には触れない。
内部が露出した場合は、絶対に手を触れないでください。感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

ストロボを人の目に近づけて発光しない。
目の近くでストロボを発光すると、視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影する場合は1m以上離れてください。

⚠注　意

コネクタ（端子）部には、指定以外のものを接続しない。
火災・感電の原因になります。

大切な画像は、パソコンに取り込み保管する。
バッテリーの消耗や故障・修理などにより、撮影した画像が消えることがあります。

飛行機の中など使用が制限または禁止されている場所では、使用しない。
事故の原因になることがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。
火災・感電の原因になることがあります。

異常な高温になる場所に置かない。
暖房器具の近く、ホットカーペットの上、窓を閉めきった自動車の中や、直接日光に当たる場所に置かないでください。火災の原因になることがあります。

本製品の上にものを置かない。
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

ストロボの発光部を手や布で覆ったまま発光しない。
故障の原因になります。また、連続発光後は発光部に触らないでください。やけどの原因になる場合があります。

カメラをネックストラップで下げている場合は、他のものに引っ掛かったり、強い衝撃や振動を与えないように注意する。
けがや本体の故障の原因になります。

■ あらかじめご承知頂きたいこと

免責事項

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。
- 万一、本機または付属のソフトウェア使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消去による、損害及び逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

商標について

- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDHCロゴは登録商標です。
- QuickTimeは、ライセンスに基づいて使用される商標です。QuickTimeは、米国およびその他の国々で登録された商標です。
- その他記載された社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
なお、本文中には™、®マークは明記しておりません。

■ 使用上のご注意

使用環境について

使用できる温度の範囲は、0℃～40℃（結露しないこと）です。

急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本機の内部や外部に水滴が付く（結露）ことがあります。結露は故障や正常な撮影ができなくなる原因となりますので、ご注意ください。
温度差の大きい場所へ移す場合は、結露の発生を防ぐために、本機をビニール袋に入れて密封しておき、周囲の温度になじませてから、袋から取り出してください。
また、結露が発生した場合は、故障の原因となりますので、バッテリー、SDメモリーカード（使用時）をカメラから取り外し、水滴が消えるまで待ってから、お使いください。

ためし撮りについて

必ず事前にためし撮りをし、画像が正常に記録されていることを確認してください。
万一、このカメラやSDメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償については、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

データエラーについて

- 本機は精密な電子部品で構成されており、以下のお取り扱いをすると内部のデータが破損する恐れがありますので、操作にはご注意ください。
  - 通信中にUSBケーブルをはずした。
  - 記録、USB接続中にバッテリーをはずした。
  - 消耗したバッテリーを使用し続けた。
  - 電源オンの状態で、SDメモリーカードを出し入れした。
  - その他の異常動作
- 万一の誤消去や破損に備え、大切なデータは別のメディア（DVD-R、ハードディスク、CD-Rなど）へ、バックアップとしてコピーされることをおすすめします。

メンテナンスについて

- レンズ面がゴミなどで汚れていると、カメラの性能が十分に発揮できません。レンズ面の汚れは、ブロアーでゴミやホコリを吹きとってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーやベンジンなどで拭かないでください。本体の塗装がはげたり、変質する原因になります。

液晶モニターについて

- 液晶モニターは、**夜間や暗めの室内撮影時などにおいて、センサーから十分な明るさが確保されない場合は、見えにくくなる場合がありますが、故障ではありません。**その場合は、なるべく明るい場所へ移動して撮影してください。
- 液晶モニターを強く押さないでください。液晶モニターにムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 液晶モニターは太陽や強い光が当たると、表示が黒くなったり、光の帯が表示されることがありますが、故障ではありません。
- 液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤、白、青、緑の点が現われたままになる場合があります。これは故障ではありません。記録される画像には影響はありませんので安心してお使いください。
- 使用中に液晶モニターのまわりが熱くなる場合がありますが、故障ではありません。

SDメモリーカードについて

- 本機はSDメモリーカードを使用できます。
  (32/64/128/256/512MB/1/2/4/8/16GB(SDHC)対応)
  (株)アイ・オー・データ機器、(株)ハギワラシスコムのSDメモリーカードを推奨します。
  miniSD／microSDカードでの動作は保証いたしません。
  ご使用の場合は、**SDメモリーカードに付属の取扱説明書をあわせてお読みください。**
- 新しいSDメモリーカードや、他のデジタルカメラやパソコンで使用されたSDメモリーカードを使用する場合は、本機で**フォーマット(初期化)** P121 してから使用してください。
- SDメモリーカードの種類によって、処理速度が遅くなる場合があります。
- SDメモリーカードは撮影や消去を繰り返すとデータ処理能力が落ちる場合があります。定期的に**フォーマットする** P121 ことをおすすめします。
- 静電気、電気的ノイズ等により、記録したデータが消失または破損することがありますので、大切なデータは別のメディア(DVD-R、ハードディスク、CD-Rなど)へ、バックアップとしてコピーされることをおすすめします。
- SDメモリーカードの接触面(コンタクトエリア)にゴミや異物を付着させないでください。汚れは乾いた柔らかい布などで、軽く拭いてください。

ACアダプター／充電器使用時のご注意

- 同梱のACアダプターの取扱説明書および**仕様** P154 を、あわせてお読みください。
- 本製品に同梱のACアダプター／充電器は、本機専用のACアダプター／充電器です。本機以外で使わないでください。
- ACアダプター／充電器を使用する場合は、カメラの電源をオフにしてから使用してください。
- 電源プラグおよびミニプラグは、しっかりと差し込んでください。
- 接続した際はACアダプターのコードをたるませてください。過度な力が加わると端子を破損する恐れがあります。

バッテリー使用時のご注意

- **仕様** P154 を、あわせてお読みください。
- 本製品に同梱のバッテリーは、本機専用の充電式リチウムイオン電池です。本機以外で使わないでください。
- バッテリーの充電は、同梱の専用ACアダプターをお使いください。
- 充電は0℃～40℃の温度範囲で行ってください。範囲外の温度で充電すると、充電時間が長くなったり、十分な充電ができない場合があります。
- 完全に使い切った状態から、フル充電になるまでの時間は、約180分です(当社測定基準による)。充電時間は、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- カメラを長時間使用したあとは、バッテリーが熱くなっておりますので、すぐに取り出さないようにご注意ください。
- バッテリーは未使用時も自己放電します。はじめてお使いになる場合や長時間ご使用にならなかったバッテリーを使用する場合は、必ず充電してから使用してください。
- 寒い場所では、バッテリーの性能が一時的に低下し、使用時間が短くなる場合があります。このようなときは、使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用するとバッテリーの性能が回復することがあります。ただし、このとき、ポケットにキーホルダーなどの金属類は入れないでください。バッテリーがショートする恐れがあります。
- リチウムイオン電池は、充電された状態で長時間保存すると特性が劣化する場合があります。長時間使用しない場合は、使い切った状態で保存してください。
- このバッテリーは、リチウムイオン電池のため、充電する前に使い切ったり、放電する必要はありません。いつでも充電できますが、規定充電回数(寿命)は約300回ですので、なるべく使い切ってから充電することをおすすめします。
- 本機は電源オフ時でも内部時計のバックアップ用として微電流が流れていますので、本機を長時間使用しない場合は、バッテリーを取り出して保存してください。
- バッテリーを持ち運ぶ場合は、端子間がショートしないように、十分ご注意の上、カメラ本体に取り付けるか、お買い上げ時に入っていた袋に入れて持ち運びください。
- ご使用前にバッテリーの端子が汚れていないことを確認してください。汚れている場合は、乾いた布でよく拭いてからご使用ください。
- 不要になったバッテリーは、貴重な資源を守るために、廃棄しないでリサイクル協力店へお持ちください。
  詳細は、「有限責任中間法人 JBRC」のホームページをご覧ください。
  ●ホームページ：http://www.JBRC.com/
  また、不要になったバッテリーは、ショートによる発煙・発火の恐れがありますので、端子をテープ等で絶縁してください。

■ 商品概要

本製品は、1200万画素CCDイメージセンサー搭載による高画質はもちろん、
3.0型の大画面液晶モニターや、光学4倍ズームを搭載したデジタルカメラです。

主な特長は以下の通りです。

主な特長

○A3プリントにも対応の1200万画素CCDイメージセンサー搭載
○約23万画素の高画質で3.0型LTPS(※1)-TFTカラー液晶モニター搭載
○光学4倍ズーム＆デジタル6倍ズーム撮影（デジタルズーム併用時最大24倍）P44
○顔認識機能 P46
○手ぶれ軽減モード P74
○多彩なシーンモード搭載 P74
（笑顔認識、手ぶれ軽減、パノラマアシスト、人物、風景、スポーツ、夜景人物、夜景、キャンドル、花火、文字、夕日、朝日、スノー、ビーチ、ペット、ユーザー設定）
○保存も安心の32MB内蔵フラッシュメモリー＆コピー to SDカード機能 P116
○現像も簡単なSDメモリーカード(※2)対応（SDメモリーカードスロット搭載）P35
○テレビで見れる、見ながら撮れる、みんなで楽しめるAV出力端子付き
（専用AVケーブル付属）P59
○季節の草花やメモ代わりに便利なマクロ撮影機能（5cm～）P46
○音声メモ（アフレコ機能）P118
○音声付き動画撮影機能 P48
○3枚の連写撮影、AE連写、マニュアル連写、フラッシュ連写撮影機能 P98
○多彩なプリセット、マニュアル撮影機能
（露出 P82 、ISO感度 P84 、ホワイトバランス P86 、シャープネス P90 、色効果 P92 、コントラスト P94 、測光方式 P96 ）
○多彩な再生モード
（シングル再生、ズーム再生（1.5倍～4倍（0.5ステップ））P53 、スライドショー再生 P109 、音声メモ再生 P120 、動画再生 P55 ）
○ダイレクトプリント可能のPictBridge対応 P136
○すぐに使えるオールインワンパッケージ P15

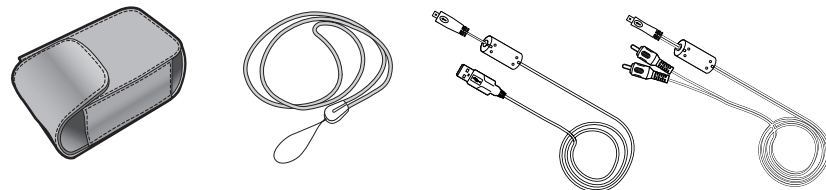
（※1）LTPS：低温ポリシリコン
（※2）SDメモリーカードは別売です。

■ 同梱品

以下の通りカメラ本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。

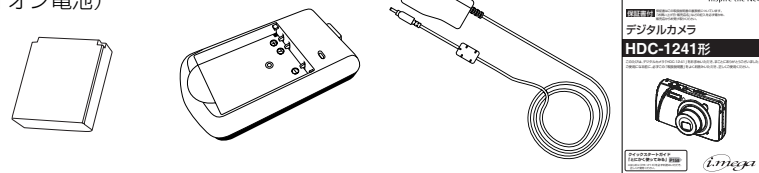
・カメラポーチ

・ネックストラップ

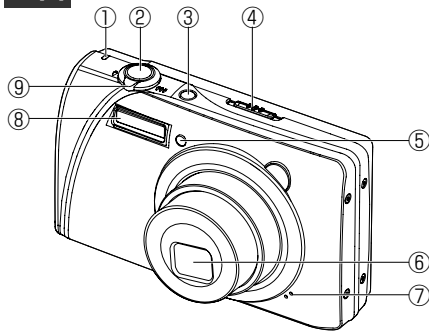
・専用USBケーブル ・専用AVケーブル

・専用バッテリー（充電式リチウムイオン電池）

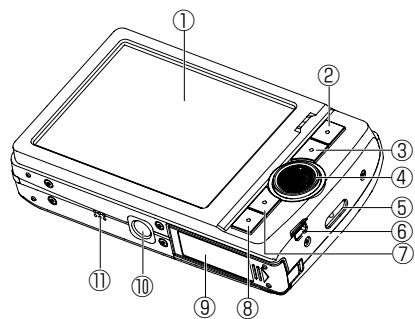
・専用充電器

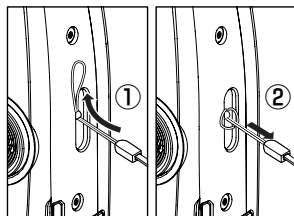
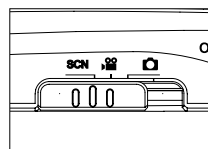
・専用ACアダプター

・取扱説明書（保証書付）

- **SDメモリーカードを使う場合** P35 **、SDメモリーカードについて** P12 をあわせてご覧ください。
- **以降、この取扱説明書では、各々の同梱品について“専用”という表記は省略します。**

■ 各部の名称と各ボタンの役割

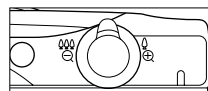
正面

①動作確認用ランプ P25
②シャッター
③電源ボタン
④モードスイッチ
　静止画撮影モード
　動画撮影モード
　SCN シーンモード
⑤セルフタイマーランプ（レッド）
⑥レンズ
⑦マイク
⑧ストロボ
⑨ズームレバー

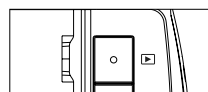
背面

①液晶モニター
②再生ボタン
③MENU(メニュー) ボタン
④コントロールパネル P18
⑤ネックストラップ取付部
⑥USB／AV端子
⑦SET（セット）ボタン
⑧ 消去ボタン
⑨バッテリー／
　メモリーカードカバー
⑩三脚ねじ穴
⑪スピーカー

ネックストラップの取付け方

モードスイッチ

カメラの動作するモードを切り替える場合に使用します。

静止画オート撮影モード：カメラが自動で設定を行い、静止画を撮影するモードです。
動画撮影モード：動画を撮影するモードです。
SCN 静止画撮影シーンモード：シーンを設定し、静止画を撮影するモードです。

各モードで設定できる項目や設定内容については、**メニュー項目と設定内容** P150 をご覧ください。

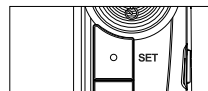
／ ズームレバー

静止画オート撮影／SCN静止画撮影シーン／動画撮影モード時に**ズーム撮影をする**場合 P44 や、再生画面時には**ズーム再生** P53 をする場合に使用します。

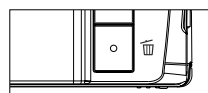
再生ボタン

各モードと再生画面の切り替えに使用します。

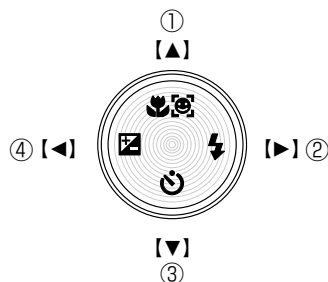
MENUボタン

各モード時に各設定可能なメニューを表示させる場合に使用します。

各メニュー表示時に、再度MENU（メニュー）ボタンを押すと、メニュー表示がキャンセルされ、各モードに戻ります。

SETボタン

各メニュー画面で決定する場合に使用します。

消去ボタン

画面時消去メニューを表示させる場合に使用します。

コントロールパネル

この取扱説明書では、コントロールパネルでの各操作の説明に、【▲】【▼】【◀】【▶】と表記していますが、カメラ本体(コントロールパネル部)には【▲】【▼】【◀】【▶】の表示はありませんのでご注意ください。

コントロールパネルの各ボタンにはご使用のモードによって､複数の役割があります。以下の内容をしっかりと確認して操作してください。

《静止画オート撮影／SCN静止画撮影シーン／動画撮影モード時》

No.	カメラの表示	ボタンの名称	機能
①		【▲】上ボタン	各メニュー画面で上を選ぶ場合に使用します。
		撮影距離切替／顔認識機能ボタン	撮影距離モードを切り替える場合 P46 や、顔認識機能 P46 を使って撮影する場合に使用します。
②		【▶】右ボタン	各メニュー画面で右を選ぶ場合に使用します。
		ストロボボタン	静止画オート撮影／SCN静止画撮影シーンモード時に各ストロボモードを選ぶ場合に使用します。P42
③		【▼】下ボタン	各メニュー画面で下を選ぶ場合に使用します。
		セルフタイマーボタン	セルフタイマー撮影をする場合に使用します。P103
④		【◀】左ボタン	各メニュー画面で左を選ぶ場合に使用します。
		露出補正設定ボタン	静止画オート撮影／SCN静止画撮影シーンモード時に、露出補正を設定する場合 P82 や、逆光補正モードで撮影する場合 P82 に使用します。

《再生時》

No.	カメラの表示	ボタンの名称	機　能
①		【▲】上ボタン	各メニュー画面で上を選ぶ場合や､シングル再生時に10枚単位で後の画像に送る場合 P52 などに使用します。
②		【▶】右ボタン	各メニュー画面で右を選ぶ場合や(一つ後の)画像を選ぶ場合などに使用します。
③		【▼】下ボタン	各メニュー画面で下を選ぶ場合や､シングル再生時に10枚単位で前の画像に送る場合 P52 などに使用します。
④		【◀】左ボタン	各メニュー画面で左を選ぶ場合や(一つ前の)画像を選ぶ場合などに使用します。

- **以降、この取扱説明書では、再生ボタン、MENU(メニュー)ボタン、SET(セット)ボタン、消去ボタン、コントロールパネルでの操作を次のように表記します。**
  - **・再生ボタン、MENU(メニュー)ボタン、SET(セット)ボタン、消去ボタンを押す操作**
    →、MENU、SET、 を押す
  - **・コントロールパネルを【▲】【▼】【◀】【▶】方向に押す操作**
    →【▲】【▼】【◀】【▶】を押す
    →【▲】【▼】【◀】【▶】で選ぶ
- **以降、この取扱説明書では、静止画オート撮影モード、動画撮影モード、静止画撮影シーンモード、再生画面を**
  モード、モード、SCNモード、画面と表記します。

■ 液晶モニターの表示

／SCNモード時 静止画を撮る P39

①静止画撮影モードマーク P74
- オート
- 笑顔認識
- 手ぶれ軽減
- パノラマアシスト
- 人物
- 風景
- スポーツ
- 夜景人物
- 夜景
- キャンドル
- 花火
- 文字
- 夕日
- 朝日
- スノー
- ビーチ
- ペット
- ユーザー設定

②ズームバー P44

③ストロボモード P42
- （表示なし）オート
- フラッシュオン
- フラッシュオフ
- 赤目軽減モード
- 夜景フラッシュ

④バッテリー残量 P29
- バッテリーの残量は十分です。
- バッテリーの残量が少なくなっています。
- まもなくバッテリーの残量がなくなります。
- バッテリーの残量がありません。

⑤メモリ P35
- 内蔵メモリー使用時
- SDメモリーカード使用時

⑥ヒストグラム P24

⑦画質 P81
- ファイン（低圧縮（1/4）モード）
- スタンダード（標準圧縮(1/8)モード）
- エコノミー（高圧縮（1/12）モード）

⑧画像サイズ P80
- 12M 3968x2976（約1200万画素）
- 8M 3264X2448（約800万画素）
- 4M 2304X1728（約400万画素）
- 2M 1600x1200（約200万画素）
- VGA 640x480（約30万画素）

⑨撮影可能枚数 P153

⑩ISO P84
- （表示なし）オート
- ISO100相当
- ISO200相当
- ISO400相当
- ISO800相当
- ISO1600相当

⑪フォーカスフレーム P40
※シャッターボタン半押し時に有効

⑫セルフタイマー P103
- （表示なし）オフ
- 2秒
- 10秒
- 10秒＋2秒

⑬日付/時刻 P32

⑭露出（明るさ）補正 P82
- （表示なし）オート
- 逆光補正モード
- 露出（明るさ）補正
−2.0EV〜+2.0EV

⑮撮影モード P98
- （表示なし）シングル撮影モード
- 連写
- AE連写
- アルバム撮影
- マニュアル連写
- フラッシュ連写

⑯ 手ぶれ注意マーク

⑰ホワイトバランス P86
- （表示なし）オート
- 白熱灯
- 蛍光灯1
- 蛍光灯2
- 晴天
- 曇天
- マニュアル

⑱撮影距離モード P46
- （表示なし）オートモード
- 顔認識モード
- マクロ（近距離）モード
- 無限遠（遠距離）モード

モード時 動画を撮る P48

①動画撮影モードマーク

②ズームバー P44

③ストロボモード P42
- フラッシュオフ

④バッテリー残量 P29

⑤メモリ P35
- 内蔵メモリー使用時
- SDメモリーカード使用時

⑥音声オフマーク P50
※音声オフ設定の場合に表示

⑦画質 P81
- ファイン
- スタンダード

⑧画像サイズ P80
- VGA
- QVGA

⑨撮影可能時間／撮影時間 P153
※撮影開始後は撮影時間を表示

⑩日付/時刻 P32

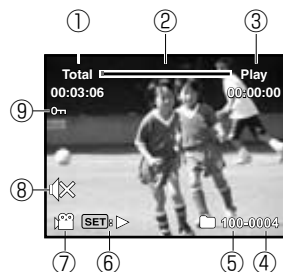
⑪セルフタイマー P103
- （表示なし）オフ
- 2秒
- 10秒

⑫フォーカスフレーム P48

⑬撮影距離モード P46
- （表示なし）オートモード
- マクロ（近距離）モード
- 無限遠（遠距離）モード

▶画面時（静止画像の場合） 静止画・動画を見る P52

①▶静止画再生モードマーク
②音声メモマーク P119
SET :Play
※音声メモが記録されている場合に表示
SET :REC
※音声メモ機能が[オン]で記録されていない場合に表示
③バッテリー残量 P29
バッテリーの残量は十分です。
バッテリーの残量が少なくなっています。
まもなくバッテリーの残量がなくなります。
バッテリーの残量がありません。
④メモリ P35
内蔵メモリー使用時
SDメモリーカード使用時
⑤ヒストグラム P24
⑥画質 P81
ファイン（低圧縮（1/4）モード）
スタンダード（標準圧縮（1/8）モード）
エコノミー（高圧縮（1/12）モード）
⑦画像サイズ P80
12M 3968x2976（約1200万画素）
8M 3264X2448（約800万画素）
4M 2304X1728（約400万画素）
2M 1600x1200（約200万画素）
VGA 640x480（約30万画素）
⑧ISO P84
（表示なし）オート
ISO100相当
ISO200相当
ISO400相当
ISO800相当
ISO1600相当
⑨ファイル番号 P70
⑩フォルダー番号 P70
⑪日付/時刻 P32
⑫逆光補正モード
露出（明るさ）補正値
−2.0EV〜+2.0EV
⑬F値
⑭シャッタースピード
⑮ 0┳ プロテクトマーク P113
※プロテクトされている場合に表示

▶画面時（動画像の場合） 動画を再生する P55

①撮影総時間
②動画ステータスバー
③経過時間
④ファイル番号 P70
⑤フォルダ番号 P70
⑥動作モード P55
▷ 再生
▯▯一時停止
□停止
▷▷ ▷▷早送り
◁◁ ◁◁巻戻し
⑦動画再生モードマーク
⑧音声オフマーク
※再生時に▲を押した場合に表示
⑨ 0┳ プロテクトマーク P113
※プロテクトされている場合に表示

液晶モニターの表示切替について

各モードの液晶モニターの表示は、**[標準]** **[全表示]** **[オフ]** から選ぶことができます。［設定］メニューで切り替えます。P69

- **▶ 画面時でも動画像の場合は、ヒストグラム表示など画像の詳細表示は表示されません。**
- **▶ 画面時でも、ズーム再生をすると、ヒストグラム表示などの詳細表示は表示されません。**

≪ヒストグラムについて≫

ヒストグラムとは、画像の明るさをグラフ化したもので、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げて表します。撮影した画像のヒストグラムの形状を見ることによって、その画像の露出状況を判断することができます。

・**中央を中心とした山の形状になっている場合：**
暗い部分、中間の部分、明るい部分がバランスよく撮影された適正露出の画像
・**山の高い部分が極端に左側に寄っている形状の場合：**
暗い部分が多すぎる露出アンダー気味の画像。夜景など黒いものが画像の大部分を占めている場合もこのような形状になります。
・**山の高い部分が極端に右側に寄っている形状の場合：**
明るい部分が多すぎる露出オーバー気味の画像。白いものが画像の大部分を占めている場合にもこのような形状になります。

- **撮影前のヒストグラムはそのときに画面に表示されている画像のヒストグラムを表示しています。**
撮影前と撮影後では、ヒストグラムに差が生じます。特に、ストロボ発光時や暗い場所での撮影時には、大きく差が出る場合がありますので、撮影後は、▶ 画面（詳細表示）で確認してください。
- **他機で撮影した画像はヒストグラムが表示されない場合があります。**
- **撮影したい画像を意図的に露出オーバーやアンダーにする場合もありますので、必ずしも中央を中心とした山の形状になっている場合が適性ではありません。**

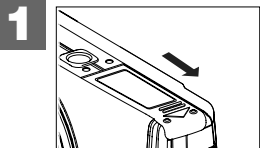
■ 動作確認用ランプの表示

動作確認用ランプ（グリーン）は、本機の状態や操作を点灯や点滅表示でおしらせします。

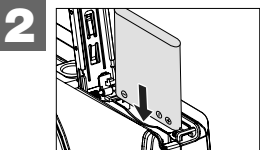
<table>
<tr><th rowspan="2">表示方法</th><th colspan="3">操作・状態</th></tr>
<tr><th>／SCN／ モード時</th><th>▶ 画面時</th><th>パソコン接続時</th></tr>
<tr><td>点灯</td><td>下記以外の電源オン時</td><td>静止画再生時</td><td>パソコン接続中</td></tr>
<tr><td rowspan="3">点滅</td><td>動画撮影時</td><td>動画再生時</td><td rowspan="3">内蔵メモリーまたはSDメモリーカードにアクセスしているとき</td></tr>
<tr><td>内蔵メモリーまたはSDメモリーカードにアクセスしているとき（画像の記録中など）</td><td>内蔵メモリーからSDメモリーカードにデータをコピーしているとき</td></tr>
<tr><td>ストロボ充電中（ モード時）</td><td>撮影データを読み込むとき</td></tr>
</table>

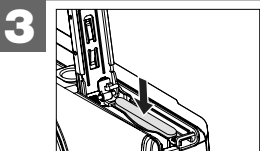
基本操作編

カメラの基本的な操作を説明します。本項の内容で、カメラの基本的な操作を行うことができます。

準備する

■ バッテリーを入れる

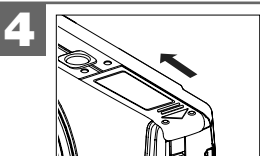
バッテリー／メモリーカードカバーを矢印の方向へスライドさせて開きます。

2

バッテリーを入れる向き（極性）を確認します。（極性表示のある面：本体背面側）

3

バッテリー側面で、バッテリーロックをずらしながら、バッテリーがロックされるまでしっかりと押し込みます。

! 無理に押し込まないでください。

バッテリーを取り出すときは、バッテリーロックをずらして取り出します。

4

バッテリー／メモリーカードカバーを閉じます。

- バッテリー／メモリーカードカバーが完全に閉まらない場合は、一度バッテリーを取り出してから、もう一度入れ直してください。
- バッテリーの交換は電源をオフにして行ってください。また、バッテリーが落下しないようにご注意ください。
- バッテリー／メモリーカードカバーを乱暴に開かないでください。破損する恐れがあります。
- 記録、USB接続中にバッテリーを取り出すと、内部のデータが破損する恐れがあります。

バッテリー残量の表示

バッテリーの残量は十分です。

バッテリーの残量が少なくなっています。

まもなくバッテリーの残量がなくなります。

バッテリーの残量がありません。
バッテリーを充電する P30 か 、十分に充電されたバッテリーを使用してください。

- 使用状況や環境によって正しく表示されないことがあります。
- バッテリー残量の表示はご使用上の目安としてお使いください。

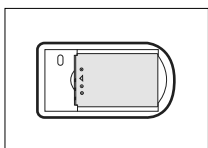
バッテリー使用時のご注意 P13 、**仕様** P154 をあわせてお読みください。

■ バッテリーを充電する

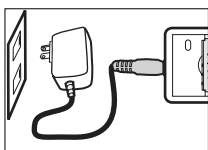
- **バッテリー使用時のご注意** P13 、**仕様** P154 を、あわせてお読みください。
- 完全に使い切った状態から、フル充電になるまでの時間は、約150分です(当社測定基準による)。充電時間は、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- 充電は0℃〜40℃の温度範囲で行ってください。範囲外の温度で充電すると、充電時間が長くなったり、十分な充電ができない場合があります。
- 24時間以上にわたる連続充電はしないでください。

はじめてお使いになるときや、バッテリーがなくなったときは、バッテリーを充電してからお使いください。

1

バッテリーを図の向きで充電器に入れます。

無理に差し込まないでください。

2

ACアダプター(付属)のミニプラグを充電器に、電源プラグ(もう片方)を壁の電源コンセントにしっかりと差し込みます。

充電器のランプ(レッド)が点灯します。
充電が終了すると充電器のランプがグリーンに変わります。

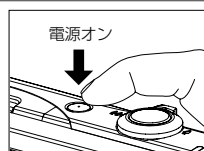
- 壁の電源コンセントから電源プラグをぬいて、充電器からバッテリーを取り外します。
- 充電中や充電後は、バッテリーおよびカメラ本体が温かくなりますが、異常ではありません。

ACアダプター(付属)を海外で使用する場合は

ACアダプター(付属)はAC100V〜240V・50/60Hzの電源に対応していますので、海外でも使用できます。

- 電源プラグの形状は滞在先の国や地域によって異なります。あらかじめ、旅行代理店などで使用可能かどうかをご確認ください。
- 市販の変圧器などは故障の原因となる場合があるので、使用しないでください。

■ 電源のオン／オフ

1

電源ボタンを押し、電源をオンにします。

・モードスイッチが📷／🎥の場合は、レンズが出て液晶モニターに被写体が写ります。
・モードスイッチがSCNの場合は、シーン選択画面が表示されます。

2

液晶モニターが消えるまで電源ボタン押し、電源をオフにします。

- 電源ボタンを押す操作が短すぎると、電源がオン／オフしない場合があります。その場合はゆっくりと操作をやり直してください。
- 操作音の設定が[オン]になっている場合(初期設定は[オン] P68)は、電源オン時に起動音で操作をおしらせします。
- 電源オン時の起動音や起動画面を変更することはできません。

オートパワーオフ機能について

電源オンのままで一切の操作を行わずにカメラを放置する(初期設定は[1分] P66)と、節電のために自動的に電源がオフになります。
再び使用するときは電源ボタンを操作して電源をオンにしてください。

- **USB接続している** P125 P136 場合や**スライドショー再生** P109 をしている場合は、オートパワーオフ機能ははたらきません。
- 各項目を設定中にオートパワーオフ機能がはたらき電源がオフになったときは、その前に設定した内容が保持されていない場合があります。その場合は、再度設定し直してください。

■ 日付／時刻を合わせる

初めてお使いになる場合や、バッテリーをはずして長時間保管されていた場合など内部時計がリセットされた場合には、日付／時刻を設定する画面が電源オン時に表示されます。
その場合は、以下の手順で日付／時刻を設定してください。

- **バッテリーをはずして長時間保管されていた場合などは、必ず時計表示を確認してください。**
  内部時計は約24時間バックアップしますが、バッテリーの使用時間によっては、日付／時刻の設定をクリアにする場合があります。
- **設定された日付／時刻は、電源をオフにした後や初期設定に戻す P37 操作を行っても保持されます。**

1

／SCN／ モード、 画面からMENUを押します。
[撮影]／[再生] メニューが表示されます。

2

[撮影]／[再生] メニューから【◀】【▶】で [設定] メニューを選び、

【▲】【▼】で [日付／時刻] を選び、

SETを押します。
[日付／時刻] 設定画面が表示されます。

3

【▲】【▼】で表示の形式(「年／月／日」「月／日／年」「日／月／年」) を選び、

SETを押します。

4

【▲】【▼】【◀】【▶】で日付／時刻を合わせ、

【▲】／【▼】：
数値の＋（プラス）／－（マイナス）
【◀】／【▶】：
項目の選択と数値の決定

SET

すべて合わせたらSETを押します。

■ 電源周波数（ヘルツ）を設定する

電源周波数は、各国、各地で異なります。室内撮影をする場合、蛍光灯などの影響を受ける可能性がありますので、国や地域にあった電源周波数で撮影することをおすすめします。

電波周波数のお買い上げ時の設定は [50Hz] が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。

1

MENU

／SCN／ モード、 画面からMENUを押します。

［撮影］／［再生］メニューが表示されます。

2

［撮影］／［再生］メニューから【◀】【▶】で［設定］メニューを選び、

【▲】【▼】で［周波数］を選び、

SETを押します。

3

【▲】【▼】で［50Hz］／［60Hz］を選び、

SETを押します。

ここで選んだ電源周波数（ヘルツ）は、**初期設定に戻す** P37 操作や電源をオフにした後も保持されます。

■ SDメモリーカードを使う場合

SDメモリーカードについて P12 をあわせてご覧ください。
本機はSDメモリーカード（別売）を使用することができます。
（32/64/128/256/512MB/1/2/4/8/16GB（SDHC）対応）
SDメモリーカードを使用しなくても撮影できます。
（内蔵32MBフラッシュメモリー搭載）
また**内蔵メモリー内の画像データをSDメモリーカードへコピーする** P116 こともできます。

● **撮影可能枚数・時間の目安については、画像記録枚数・時間** P153 **をご覧ください。**

・ご使用中のSDメモリーカードのカードサイズやメモリー残量の情報は、［設定］メニュー内［メモリー情報］で確認できます。
SDメモリーカードを使用していない場合は内蔵メモリーの情報が確認できます。
メニュー項目と設定内容 P150
操作方法は、 ／**SCN**／ モード、 画面から、**MENU**を押して、**【◀】【▶】**で［設定］メニューを表示させ、**【▲】【▼】**で［メモリー情報］を選び**SET**を押します。

1

バッテリー／メモリーカードカバーを矢印の方向にスライドさせて開きます。

2

SDメモリーカードをSDメモリーカードスロットに挿入します。

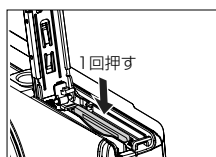
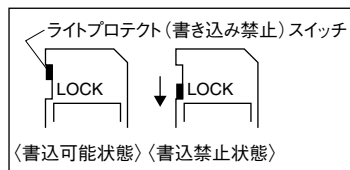
メモリーカードは図の向きで「カチッ」と音がなるまで確実に差し込んでください。

3

バッテリー／メモリーカードカバーを閉じます。

- バッテリー／メモリーカードカバーが完全に閉まらない場合は、一度SDメモリーカードを取り出してから、もう一度入れ直してください。
- SDメモリーカードを使用（挿入）するとSDメモリーカードが優先されます。SDメモリーカード使用時は、内蔵メモリーに記録したり、内蔵メモリー内の画像を消去することはできません。
- SDメモリーカードを入れたり、取り出したりする場合は、必ず電源がオフの状態で行ってください。SDメモリーカードやSDメモリーカード内のデータが破損する原因になります。
- 他のデジタルカメラやパソコンでフォーマット（初期化）したSDメモリーカードを使用する場合は、本機でフォーマット（初期化）してから使用してください。**フォーマットする P121**
- miniSD／microSDカードでの動作は保証いたしません。

SDメモリーカードを取り出すには

バッテリー／メモリーカードカバーを開き、SDメモリーカードを1回押して取り出してください。

SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）について

SDメモリーカードにはライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチがついています。ライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが、「LOCK」になっていると液晶モニターに「カードロック」と表示され、通常の撮影や消去ができません。

■ 初期設定に戻す

ご使用中に様々な設定をしてしまったなど、元の設定に戻したい場合は、以下の操作で各設定項目を初期設定に戻します。

1

［カメラ］／SCN／［動画］モード、［再生］画面からMENUを押します。

［撮影］／［再生］メニューが表示されます。

2

［撮影］／［再生］メニューから【◀】【▶】で［設定］メニューを選び、

【▲】【▼】で［初期設定に戻す］を選び、

SETを押します。

確認画面が表示されます。

3

【▲】【▼】で［キャンセル］／［実行］を選び、

SETを押します。

［実行］を選ぶと、各設定を初期設定に戻し、［設定］メニューに戻ります。

各項目の初期設定

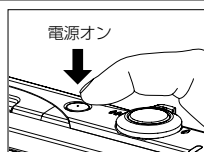
設定項目	初期設定
ストロボモード P42	オート
撮影距離モード P46	オート
画像サイズ P80	12M
ISO感度 P84	オート
画質 P81	ファイン
ホワイトバランス P86	オート
シャープネス P90	スタンダード
色効果 P92	スタンダード
コントラスト P94	中
測光方式 P96	マルチ
撮影モード P98	シングル
デジタルズーム P45	オン
プレビュー P73	オン
日付プリント P105	オフ
オートパワーオフ P66	1分
操作音 P68	オン
画面表示 P69	標準
液晶の明るさ P72	0
スライドショー P109	3秒
音声メモ P120	オフ

言語（初期設定は[日本語] P64 ）やビデオ出力（初期設定は [NTSC] P59 ）の項目は初期設定に戻す操作を行っても設定内容が優先され、初期設定には戻りません。**メニュー項目と設定内容 P150**

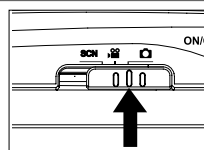
静止画／動画を撮る

■ 静止画を撮る

シャッターボタンは半押しと全押しの2段階で動作します。
半押しと全押しの操作（感覚）については、実際に撮影される前に必ずお試しください。**ためし撮りについて P10**

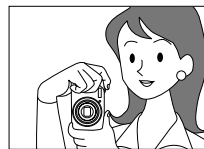
1

電源ボタンを押し、電源をオンにします。

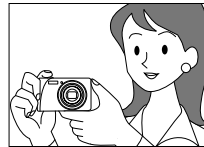
電源のオン／オフ P31

2

モードスイッチを📷／SCNにします。

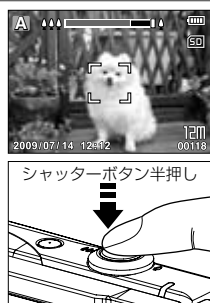
レンズが出て液晶モニターに被写体が写ります。
SCNモードの場合はシーンを決定してください。P74

3

両手でカメラを構え、被写体が液晶モニターに収まるように、構図を決めます。

・横に持つ場合

両方の手でカメラを持ち、脇を締めてカメラをしっかりと固定してください。

・縦に持つ場合

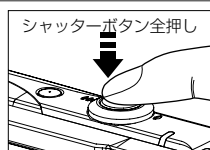
縦に持つ場合は、レンズよりストロボが上にくるようにして、カメラをしっかりと固定してください。

4

シャッターボタン半押し

被写体をフォーカスフレームに合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます（フォーカスロック）。

・ピントが合うと「ピピッ」という音がしてフォーカスフレームの表示がグリーンになります。シャッタースピード、F値の値が液晶モニターに表示されます。

- フォーカスフレームの表示がレッドの場合は、ピントが合っていません。その場合は撮影距離などを確認して、被写体をフォーカスフレームにあわせ､半押しし直してください。半押しの操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。
  ピントについて P41
- パノラマアシストモード時は【◀】【▶】で画像をつなげる方向を選んでからピントを合わせてください。

5

シャッターボタン全押し

半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。

シャッターが切れます。

- 操作音の設定が［オン］になっている場合（初期設定は［オン］P68）は、シャッター音で撮影されたことをおしらせします。
- プレビューの設定が［オン］になっている場合（初期設定は［オン］P73）は、撮影された画像が液晶モニターに表示されます。
- 撮影したあとに、動作確認用ランプが点滅 P25 している場合は、SDメモリーカードへ画像記録中、ストロボ充電中のため、次の撮影はできません。
- 笑顔撮影モード時は笑顔を認識しないとシャッターが切れません。

ピントについて

・ピントが合う範囲は、約30cm（ワイド端（広角側））/約50cm（テレ端（望遠側））～∞です（近距離（マクロ）モード時：約5cm（ワイド端（広角側））/約50cm（テレ端（望遠側））～∞）。

・ピント合わせ（半押し時）の状況は、フォーカスフレームと動作確認用ランプの色で確認できます。

状況	フォーカスフレーム
ピントが合ったとき	グリーン
ピントが合っていないとき	レッド

・本機のオートフォーカス機能は、CCD上のコントラストの状態を検知して距離を測るコントラスト方式を採用しています。

・以下のような被写体はピントが合いにくい場合があります。その場合は、構図を変更したり、被写体と同距離にあるコントラストのはっきりしたものでピントをあわせたあと、構図を決めて撮影してください。

— 階調のない壁などコントラストがはっきりしないもの
— 画面中央に極端に明るいものがある
— 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
— 遠いものと近いものが混在する（ガラス越しなど）
— 動きのはやいもの
— ピントを合わせたいものが中央にない
— 暗い場所にある被写体

・フォーカスロックされて、ピントが合っても、シャッターボタンを離すとピントが解除されます。その場合は、もう一度半押ししてピントを合わせてください。

・半押ししてピントが合ってないときでも、全押しして撮影することはできますが、ピント合わせは正しく設定されていません。

手ぶれ軽減モードついて

・シャッターボタンを全押しするときは、手ぶれに十分ご注意ください。

・被写体の明るさやストロボモードの状態（暗い場所でストロボが発光禁止になっているなど）から、手ぶれしやすい場合は、手ぶれ軽減モード P74 を使用しての撮影をおすすめします。

■ ストロボを使う

撮影状況、目的に応じてストロボの設定を選んでください。

1

📷／SCNモードで ⚡（【▶】）を押します。

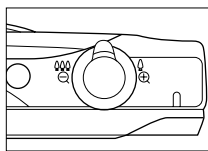
ストロボモード選択画面になります。

2

設定したいストロボモードを【◀】【▶】で選び、

SETを押します。

液晶モニターに選んだストロボモードがアイコン表示されます。
（オートの場合は表示されません）

ストロボモード	設定内容
⚡A オート 初期設定	撮影状況に応じて自動的にストロボを発光します。
⚡ フラッシュオン	常にストロボを発光させます。
フラッシュオフ	ストロボは発光しません。 暗いところではシャッタースピードが遅くなり、手ぶれが起こりやすくなりますので、手ぶれ軽減モード P74 を使用して撮影してください。
⚡◉ 赤目軽減	暗いとところでひとみを自然に撮りたいときに使用します。
⚡S 夜景フラッシュ	フラッシュ撮影によって、夜景が暗くならないように撮りたいときに使用します。

- ストロボによる連動範囲（推奨）は、約0.5m〜約1.8m（ テレ端（望遠側））／約3.0m（ ワイド端（広角側））です。
  この範囲外の被写体に対しては適切な効果が得られません。また、**ISO感度の設定** P84 などによって異なります。
- ここで選んだストロボモードは、**初期設定に戻す** P37 操作を行うとオートモードに戻ります。
- 近くでストロボ発光部を見ないようにご注意ください。
- ストロボ発光部を指などでふさがないようにご注意ください。
- SCNモードで笑顔認識／風景／スポーツ／夜景／キャンドル／花火／文字／夕日／朝日／スノーモードに設定している場合 P74 や、撮影モードを［連写］、［AE連写］、［マニュアル連写］に設定している場合 P98 、🎥 モードの場合は、ストロボは発光しません。
- 動作確認用ランプ（グリーン）が点滅している場合は、ストロボの充電中で次の撮影はできません。
  ストロボの充電には約5秒程かかる場合があります。充電時間は使用状況やバッテリー残量によって異なります。
- バッテリー残量が少ない場合は、ストロボの充電ができなくなる場合があります。その場合は、バッテリーを充電してください。
- 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や条件によって、効果が表れにくい場合があります。
- ストロボを発光した場合は、外光や蛍光灯など他の光源の影響で色味が変わる場合があります。

■ ズームを使う

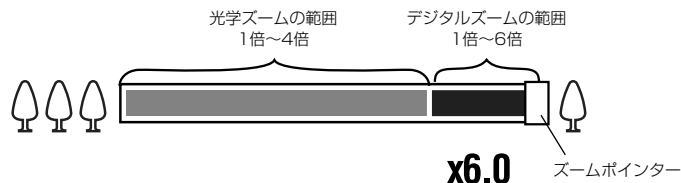
被写体を光学ズーム倍率4倍（35mmフイルム換算約32mm〜約128mm）で拡大して撮影できます。
デジタルズーム（6倍）と組み合わせて使用すると最大約24倍の撮影ができます。

- 高倍率での撮影は手ぶれが起こりやすくなります。手ぶれ軽減モード P74 を使用しての撮影をおすすめします。
- 🎥 モード時のズームの調整は撮影前に行います。撮影開始後にズームを調整することはできません。

1

📷／SCN／🎥 モード時、液晶モニターで被写体を確認しながら、ズームレバーを回してズームを調整します。

広角側 ⩀⩀⩀：広角になります。
望遠側 ⩀ ：望遠になります。

ズームバーの表示

デジタルズームを使う場合

光学ズームが最も望遠側（4倍）になった状態から、さらに ⩀ 側に回すと、中央部分をデジタルズームして撮影することができます。
デジタルズームの初期設定は［オン］が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。

1

📷／SCN／🎥 モードからMENUを押します。
［撮影］メニューが表示されます。

2

［撮影］メニューから【◀】【▶】で［機能］メニューを選び、

【▲】【▼】で［デジタルズーム］を選び、

SETを押します。
選択画面が表示されます。

3

【▲】【▼】で［オン］／［オフ］を選び、

SETを押します。
選んだ内容を保持し、［機能］メニューに戻ります。

ここで選んだデジタルズームの設定は、**初期設定に戻す** P37 操作を行うと［オン］に戻ります。

■ 顔認識／マクロ(近距離)／無限遠(遠距離)モードで撮影する

撮影状況、目的に応じて撮影距離モードの設定を選んでください。

撮影距離モード	設定内容
AUTO オート **初期設定**	通常の撮影時に使用するモードです。約40cm～∞の範囲で、カメラが自動的にピントを合わせます。
顔認識	人物の顔にピントを合わせて撮影したい場合に使用するモードです。 ●同時に10人までの顔を認識しますが、ピントが合うのは1人になります。メインの顔に白色の枠が表示され、他の顔には灰色の枠が表示されます。 ●どの人物の顔を認識してピントを合わせるかは、顔の向きなどの撮影条件によって異なります。 ●顔を認識しない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央にピントが合います。 ●次のような場合、カメラは人物の顔を認識できません。顔の一部がサングラスなどでさえぎられている。顔の向きが正面を向いていない。構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている。
マクロ(近距離)	花などをアップにして撮影したい場合に使用するモードです。 ○撮影可能範囲： ・ズームが (広角側)いっぱいのとき(ワイド端)：約5cm～∞ ・ズームが (望遠側)いっぱい(光学ズーム4倍)のとき(テレ端)： 約50cm～∞ ●近距離撮影時にデジタルズームを使用すると、ピントが合いにくくなりますので、デジタルズームを使用しないことをおすすめします。 ●ストロボ撮影の連動範囲(推奨)は、約0.5m～約1.8m(テレ端(望遠側))／約3.0m(ワイド端(広角側))です。 ●近距離撮影時にストロボ撮影をすると、ストロボの光がレンズ部にさえぎられて、画像に影が映し出される場合がありますので、ご注意ください。
∞ 無限遠(遠距離)	遠くの風景などを撮影したい場合に使用するモードです。ピント合わせは∞(無限遠)に固定されます。

1

／SCN／ モードで、([▲])を押します。

撮影距離モード選択画面になります。

2

設定したい撮影距離モードを【◀】【▶】で選び、

SETを押します。

液晶モニターに選んだ撮影距離モードがアイコン表示されます。
(オートの場合は表示されません)

- 動画撮影モードでは「顔認識」は選択できません。
- SCNモードで笑顔認識／風景／夜景人物／夜景／キャンドル／花火／文字／夕日／朝日／ペットモードに設定している場合は撮影距離モードに選択できない設定があります。
- ここで選んだ撮影距離モードは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P37 操作を行うとオートモードに戻ります。

■ 動画を撮る

本機は動画を撮影できます。撮影した動画は、カメラで再生したり、付属のAVケーブルを使用してテレビで見ることができます。
撮影時の音声は初期設定では[オン]（音声あり）が設定されていますが、音声なしで撮影することもできます。**動画を音声なしで撮影する場合** P50

1

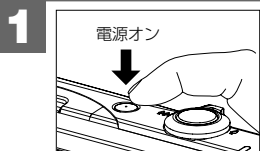
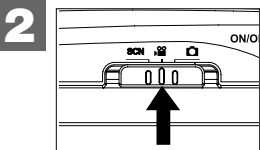
電源ボタンを押し、電源をオンにします。

電源のオン／オフ P31

2

モードスイッチを 🎥 にします。

レンズが出て液晶モニターに被写体が写ります。

3

／ でズームを調整します。**ズームを使う** P44

ズームの調整は撮影開始後にはできません。

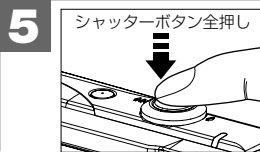
4

シャッターボタン半押し

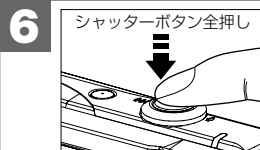
撮影を開始する被写体をフォーカスフレームに合わせ、シャッターボタンを半押しして ピントをあわせます（フォーカスロック）。

・ピントが合うと、「ピピッ」という音がして、フォーカスフレームの表示がグリーンになります。

フォーカスフレームの表示がレッドの場合は、ピントが合っていません。その場合は撮影距離などを確認して、被写体をフォーカスフレームにあわせ、半押しし直してください。半押しの操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。
ピントについて P41

5

半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。

・液晶モニターに**REC**が表示され、撮影を開始します。
・撮影中は液晶モニターに撮影時間が表示されます。

6

撮影をストップするときは、シャッターボタンを押します（全押し）。

撮影をストップします。

- 撮影に必要なメモリー残量やバッテリー残量がなくなった場合、撮影は自動的にストップします。
- 連続撮影を1時間以上行った場合や1ファイルが4GBを超えた場合、撮影は続きますがファイルが分けられます。

- セルフタイマー P103 、ズーム撮影 P44 はできますが、ストロボ撮影はできません。
  画像サイズ P80 、画質 P81 、色効果 P92 、撮影距離モード P46 のみ設定可能です。
  設定可能な項目については、**メニュー項目と設定内容** P150 をご覧ください。
- ピントやF値、露出補正値などは撮影を開始したとき（最初のフレーム）の設定値に固定されます。
- 磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジやテレビ、携帯電話など）からは、できるだけ離れて撮影してください。電磁波の影響で画像や音声が乱れる場合があります。

動画を音声なしで撮影する場合

撮影時の音声は初期設定では[オン](音声あり)が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。

1

MENU

モードからMENUを押します。

[撮影] メニューが表示されます。

2

[撮影]メニューから【◀】【▶】で[機能] メニューを選び、

【▲】【▼】で [音声] を選び、

SET

SETを押します。

選択画面が表示されます。

3

【▲】【▼】で [オフ] を選び、

SET

SETを押します。

ここで選んだ音声の設定は、**初期設定に戻す** P37 操作を行うと [オン] に戻ります。

動画ファイルについて

画像サイズ（記録画素数）	640X480、320X240
記録画像ファイル フォーマット	AVI (画像データ：Motion JPEG、 音声　：WAV (PCM方式)/モノラル)
フレームレート	30フレーム/秒
記録時間	内蔵32MBフラッシュメモリー時：約29秒 SDメモリーカード1GB時：約18分24秒 ※640X480、ファイン時

- 記録時間は、あくまでも目安であり、被写体や撮影条件によって異なります。
- 記録可能時間は、撮影開始前に、メモリー容量を確認し、一定のデータを記録することを考慮して、設定しています。そのため表示している記録可能時間より長く、記録できる場合があります。その時は、液晶モニター上に、再度設定された記録可能時間が表示されます。
- 動画ファイル(ファイル形式：AVI、圧縮形式：Motion JPEG)をパソコンで再生するには、QuickTime3.0以上やWindows Media Player(※)などの記録画像ファイルフォーマットに対応した再生用のソフトウェアが必要です。

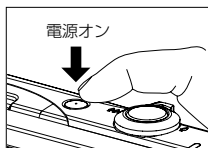
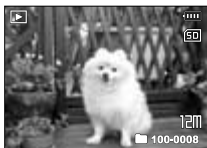
（※）Windows Media Playerをお使いの場合は、動画ファイルを再生できない場合があります。
その場合は、コーデック(Compression/Decompressionの略で音声や動画の圧縮・伸張(再生)を行うための専用プログラム)が含まれるDirectX 8.1などの、機能拡張ツールが必要です。

静止画／動画を見る

撮影した静止画や動画は液晶モニターで再生できます。基本的な再生方法には、シングル再生、ズーム再生（1.5〜4倍（0.5ステップ））、画像回転、動画再生があります。

スライドショー再生や音声メモ再生については、**スライドショー再生をする P109**、**音声メモを再生する P120** をご覧ください。

1

電源ボタンを押し、電源をオンにします。

電源のオン／オフ P31

2

▶を押して再生画面にします。

最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

3

【◀】【▶】で画像を選びます。**コントロールパネル P18**

・動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。

【◀】

【▶】

【▲】【▼】で10枚単位で画像を送ることができます。

【▲】10枚後の画像に送ります。

【▼】10枚前の画像に送ります。

液晶モニターに 🎤 SET:Play が表示されている場合は、音声メモ付きの静止画です。記録された音声メモを再生する場合は**音声メモを再生する P120** をご覧ください。

ズーム再生をする

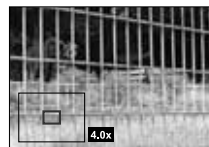
シングル再生で表示された画像を、1.5倍〜4倍（0.5ステップ）の倍率でズーム再生することができます。

動画はズーム再生できません。

1

【◀】【▶】／【▲】【▼】でズーム再生したい静止画を選びます。

2

ズームレバーを 🌲 側に回すごとに0.5ステップで中央部分を拡大して再生します。

3

【▲】【▼】【◀】【▶】で、表示位置を変更します。

4

SETを押すと選んだ画像のシングル再生画面になります。

画像を回転させる

【◀】【▶】／【▲】【▼】で回転させたい静止画を選びます。

2

回転させたい静止画を決めたらMENUを押します。

［再生］メニューが表示されます。

【▲】【▼】で［画像回転］を選び、

SETを押します。

4

【▲】【▼】で［右90°］／［左90°］を選び、

SETを押します。

動画像を回転させることはできません。

動画を再生する

1

【◀】【▶】／【▲】【▼】で再生したい動画像を選びます。

2

SETを押すと、再生をスタートします。

再生をスタートすると、液晶モニターに経過時間を表示します。

再生中の操作

SETを押す→ ⏸ 一時停止
【▼】を押す→ □ 停止
【▶】を押す→ ▷▷ 2倍速再生　もう一度【▶】を押す→ ▷▷4倍速再生
【◀】を押す→ ◁◁ 2倍速逆再生　もう一度【◀】を押す→ ◁◁4倍速逆再生
【▲】を押す→ 音声オフで再生する

画像を消去する

画像を消去するには
・1枚ずつ消去する
・全ての画像を消去する
の2つの方法があります。▶画面から操作します。

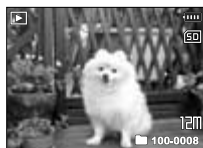
- 一度消去してしまった記録内容は二度と元に戻すことはできません。消去を行うときは、本当に不要な画像（ファイル）かどうかよく確かめてから行ってください。特に全ての画像を消去する場合は、全ての内容を一度に消去してしまいますので、内容をよく確かめてから操作してください。
- 消去中にカメラの電源がオフになると、正しく消去されず、SDメモリーカードが正常に使用できなくなる場合がありますので、消去する場合は、十分に充電されたバッテリーを使用してください。
- 画像プロテクトP110 された画像は消去できませんので、画像プロテクトを解除してから操作してください。
- 音声メモ付き静止画を消去すると、画像ファイルと音声ファイルの両方を消去します。
  撮影したあとに音声メモを入れる P118

1枚ずつ消去する

1

電源ボタンを押し、電源をオンにします。

電源のオン／オフ P31

2

▶を押して再生画面にします。
最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

3

【◀】【▶】／【▲】【▼】で消去したい画像を選びます。
・動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。

4

🗑を押します。
［消去］メニューが表示されます。

5

［消去］メニューから【▲】【▼】で［現在の画像］を選び、

SETを押します。
消去確認の画面が表示されます。
- **この時点ではまだ消去されていません。**

6

【▲】【▼】で［キャンセル］／［実行］を選び、SETを押します。
・［キャンセル］を選ぶと、消去を中止して、［消去］メニューに戻ります。
・［実行］を選ぶと、選んだ画像が消去され、シングル再生画面に戻ります。
続けて消去を行う場合は、再度🗑を押して［消去］メニューから操作してください。

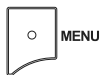
全ての画像を消去する

1

▶画面（シングル再生画面）から 🗑 を押します。

［消去］メニューが表示されます。

2

SET

［消去］メニューから【▲】【▼】で［全ての画像］を選び、SETを押します。

消去確認の画面が表示されます。

- **この時点ではまだ消去されていません。**

3

【▲】【▼】で［キャンセル］／［実行］を選び、SETを押します。

・［キャンセル］を選ぶと、消去を中止して、［消去］メニューに戻ります。

・［実行］を選ぶと、全ての画像が消去され、「画像がありません」と表示されます。操作は慎重に行ってください。

テレビを使って再生／撮影する

同梱のAVケーブルを使用すると、テレビに画像を表示して通常の撮影や再生ができます。

テレビと接続する前に

テレビと接続する前に、テレビの方式を確認します。

NTSC方式の主な国：**日本**、アメリカ、韓国、カナダなど

PAL方式の主な国　：イギリス、イタリア、スイス、スペイン、オーストラリア、オランダなど

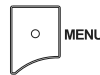
テレビの方式（ビデオ出力）のお買い上げ時の設定は［NTSC］が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。

1

MENU

📷／SCN／🎥モード、▶画面からMENUを押します。

［撮影］／［再生］メニューが表示されます。

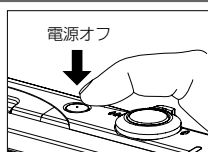
2

［撮影］／［再生］メニューから【◀】【▶】で［設定］メニューを選び、

【▲】【▼】で［ビデオ出力］を選び、

SET

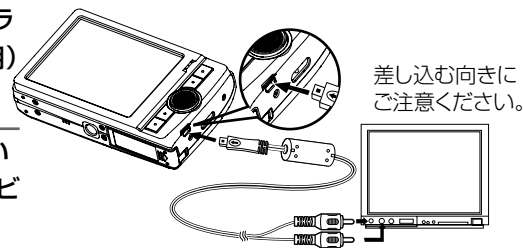
SETを押します。

3 【▲】【▼】で［NTSC］／［PAL］を選び、

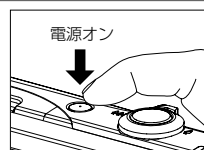
SETを押します。
選んだ内容を保持し［設定］メニューに戻ります。

4 電源ボタンを押して電源をオフにします。

ここで選んだテレビの方式は、**初期設定に戻す** P37 操作や、電源をオフにした後も保持されます。

1 **テレビと接続する前に** P59 に従って、テレビの方式を確認し、カメラの電源をオフにします。

2 AVケーブル（付属）のミニプラグをカメラのAV端子（USB兼用）に差し込みます。

3 AVケーブルの黄色いピンプラグを、テレビの映像入力端子に、白いピンプラグを音声入力端子に接続します。

4 テレビの電源をオンにして、テレビの入力切り替えをビデオ入力モードに切り替えます。

5 電源オン

モードスイッチを用途に合わせて切り替え、カメラの電源をオンにします。
テレビに画像が表示されます。

モードスイッチ P17
電源のオン／オフ P31

- AVケーブルを接続したり、取り外すときは、必ずカメラとテレビの電源をオフにして行ってください。
- 接続した際は、AVケーブルをたるませてください。過度な力が加わると端子を破損する恐れがあります。
- テレビに接続しているときは、液晶モニターは表示されません。

応用操作編

より細かいカメラの設定内容について説明します。ご使用の目的に応じてお読みください。
応用操作編の各項の≪モードスイッチ設定≫の表記は、その項の機能や設定が使用できるモードを表しています。その項の機能や設定を行う場合は、モードスイッチをそのモードに合わせてご使用ください。

準備について

■ 言語を設定する

モード設定：📷／SCN／🎥／▶

液晶モニターの言語は、以下の言語から選ぶことができます。

日本語	スペイン語（Español）	ロシア語（Русский）
英語（English）	イタリア語（Italiano）	中国語1（繁體中文）
フランス語（Français）	ポルトガル語（Português）	中国語2（简体中文）
ドイツ語（Deutsch）	オランダ語（Nederlands）	

- 言語のお買い上げ時の設定は［日本語］が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。
- ここで選んだ言語は、**初期設定に戻す** P37 操作や、電源をオフにした後も保持されます。

1

MENUを押して各メニューから、

【◀】【▶】で［設定］メニューを表示させます。

2

［設定］メニューから【▲】【▼】で［言語］を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。

3

【▲】【▼】で設定したい言語を選び、

SET

SETを押します。

選んだ内容を保持し、［設定］メニューに戻ります。

■ オートパワーオフの時間を設定する

モード設定：📷／SCN／🎥／▶

オートパワーオフの時間［1分］**初期設定**／［2分］／［3分］／［オフ］を設定できます。

オートパワーオフ機能について P31

1

MENUを押して各メニューから、

【◀】【▶】で［設定］メニューを表示させます。

［設定］メニューから【▲】【▼】で［オートパワーオフ］を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。

3

【▲】【▼】で［1分］／［2分］／［3分］／［オフ］を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、［設定］メニューに戻ります。

- ここで選んだオートパワーオフの時間は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P37 操作を行うと［1分］に戻ります。
- **USB接続している** P125 P136 場合や**スライドショー再生** P109 をしている場合は、オートパワーオフ機能ははたらきません。
- 各項目を設定中にオートパワーオフ機能がはたらき電源がオフになったときは、その前に設定した内容が保持されていない場合があります。その場合は、再度設定し直してください。

■ 操作音のオン／オフを設定する

モード設定：📷／SCN／🎥／▶

操作音の [オン] **初期設定** ／[オフ] を設定できます。

1

MENUを押して各メニューから、

【◀】【▶】で [設定] メニューを表示させます。

2

[設定] メニューから【▲】【▼】で [操作音] を選び、

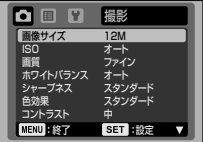
SETを押します。
選択画面が表示されます。

3

【▲】【▼】で [オン] ／ [オフ] を選び、

SETを押します。
選んだ内容を保持し、[設定] メニューに戻ります。

ここで選んだ操作音の[オン]／[オフ]は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P37 操作を行うと [オン] に戻ります。

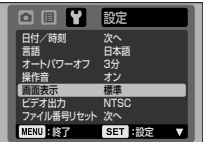
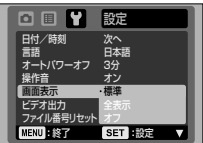
■ 画面表示を設定する

モード設定：📷／SCN／🎥／▶

画面表示を [標準] **初期設定** ／ [全表示] ／ [オフ] から選ぶことができます。

1

MENUを押して各メニューから、

【◀】【▶】で [設定] メニューを表示させます。

2

[設定] メニューから【▲】【▼】で [画面表示] を選び、

SETを押します。
選択画面が表示されます。

3

【▲】【▼】で [標準] ／ [全表示] ／ [オフ] を選び、

SETを押します。
選んだ内容を保持し、[設定] メニューに戻ります。

ここで選んだ画面表示は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P37 操作を行うと [標準] に戻ります。

■ ファイル番号をリセットする モード設定：📷／SCN／🎥／▶

次に撮影される画像ファイル番号を0001から記録したい場合に使用します。

フォルダ名とファイル名の基本ルール

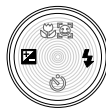
フォルダ名とファイル名は以下のルールに従って、カメラが自動的に作成します。ファイル番号をリセットする操作を行うと、新しいフォルダが作成され、ファイル番号が0001から始まります。

フォルダ名について：
XXX_HCAM
フォルダの通し番号（100〜999）

ファイル名について：
HIMGYYYY.jpg（音声ファイルは.wav）（動画ファイルは.avi）
ファイルの通し番号（0001〜9999）

- フォルダの通し番号はファイルの通し番号が9999を越えた場合や、ファイル番号をリセットする操作を行った場合に一つあがります。
- 詳しいフォルダ構造については、**SDメモリーカード内のフォルダ構造** P156 をご覧ください。

1

MENUを押して各メニューから、

【◀】【▶】で［設定］メニューを表示させます。

2

［設定］メニューから【▲】【▼】で［ファイル番号リセット］を選び、

SETを押します。
確認画面が表示されます。

3

【▲】【▼】で［キャンセル］／［実行］を選び、

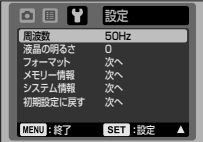
SETを押します。
・［キャンセル］を選ぶと、ファイル番号リセットを中止して、［設定］メニューに戻ります。
・［実行］を選ぶと、ファイル番号をリセットし、［設定］メニューに戻ります。

■ 液晶モニターの明るさを設定する

モード設定：📷／SCN／🎥／▶

液晶モニターの明るさを11段階（−5〜+5、初期設定は［0］）で調整できます。

1

MENUを押して各メニューから、

【◀】【▶】で［設定］メニューを表示させます。

［設定］メニューから【▲】【▼】で［液晶の明るさ］を選び、

SETを押します。
設定画面が表示されます。

【▲】【▼】で液晶の明るさ（−5〜+5）を選び、

SETを押します。
選んだ内容を保持し、［機能］メニューに戻ります。

- ここで選んだ液晶の明るさは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P37 操作を行うと［0］に戻ります。
- ここで選んだ液晶の明るさは、撮影する画像には反映されません。撮影画像の明るさを設定する場合は、**露出（明るさ）補正を設定する** P82 をご覧ください。

■ プレビューのオン／オフを設定する

モード設定：📷／SCN

📷／SCNモードで、撮影後に撮影画像を表示するプレビューの設定（初期設定は［オン］）ができます。

1

MENUを押して［撮影］メニューから、

【◀】【▶】で［機能］メニューを表示させます。

2

［機能］メニューから【▲】【▼】で［プレビュー］を選び、

SETを押します。
選択画面が表示されます。

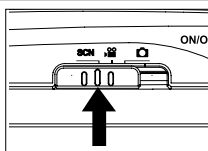
3

【▲】【▼】で［オン］／［オフ］を選び、

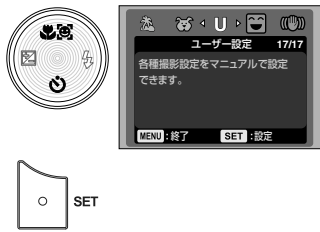
SETを押します。
選んだ内容を保持し、［機能］メニューに戻ります。

- ここで選んだプレビューの設定は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P37 操作を行うと［オン］に戻ります。
- 🎥 動画撮影時はプレビュー表示できません。

撮影（静止画・動画）について

■ シーンモードを設定する

モード設定：SCN

様々なシーンにあわせて、シーンモードを設定すると、カメラがそのシーンに最適なモードで撮影します。

シーンモードの種類	設定内容
笑顔認識	笑顔を認識し、自動で3枚連続撮影を行います。
手ぶれ軽減	高感度撮影と早いシャッタースピードで、手ぶれを軽減します。
パノラマアシスト	画像の位置を確認しながらパノラマ写真のように撮影できます。
人物	背景をソフトな感じに仕上げ、人物を引き立てます。
風景	焦点距離を遠景に設定し、風景をくっきりと撮影できます。
スポーツ	速いシャッタースピードで撮影し、動いている被写体の撮影に適しています。
夜景人物	夜景・人物ともきれいに撮影できます。スローシャッターのため、カメラをしっかりと固定して撮影してください。
夜景	暗い雰囲気を保ち、夜景をきれいに撮影できます。スローシャッターのため、カメラをしっかりと固定して撮影してください。
キャンドル	キャンドルの光のもとで、自然な色合いで撮影できます。
花火	打ち上げ花火を鮮やかに撮影できます。スローシャッターのため、カメラをしっかりと固定して撮影してください。
TEXT 文字	書類やホワイトボードなど、文字がはっきりわかるように撮影できます。
夕日	夕焼けを赤く鮮やかに撮影できます。
朝日	朝焼けをくっきりと鮮やかに撮影できます。
スノー	背景の明るい雪景色などで、画像が暗くなるのを防ぎ、明るくくっきりと撮影できます。
ビーチ	日差しの強い浜辺で、画像が暗くなるのを防ぎ、明るくくっきりと撮影できます。
ペット	速いシャッタースピードで撮影し、動きの速いペットの撮影に適したモードです。
U ユーザー設定	各種撮影設定をマニュアルで設定するモードです。

スローシャッターのシーンモードの場合は、三脚を使用するなどしてカメラをしっかりと固定して撮影してください。

1

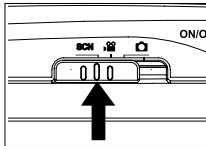
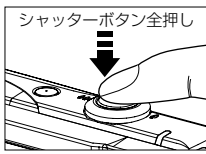
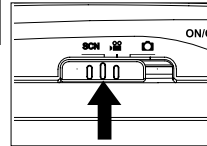
モードスイッチをSCNにします。

2

【◀】【▶】で設定したいシーンモードを選び、

SETを押します。

選んだシーンモードの静止画撮影モードになります。
シーンモード設定画面に戻る場合は、再び**SET**を押します。

選んだシーンモードによっては設定を変更できないメニュー項目があります。全てのメニュー項目を選択したい場合は、［ユーザー設定］を選択してください。

笑顔認識モードで撮影する

笑顔を認識し、自動で3枚連続撮影を行うモードです。

1

モードスイッチをSCNにします。

2

【◀】【▶】で［笑顔認識］を選び、

SETを押します。

笑顔認識モードになります。

3

被写体の顔が認識されたらシャッターを半押しします。白色の枠の顔にピントが合い枠の色が緑色になります。

4

顔にピントを合わせたままシャッターを全押しします。

5

「笑顔認識中」と表示され、笑顔が認識されると自動で3枚連続撮影を行います。「認識できません」と表示された場合は再度撮影してください。

- 笑顔認識モードはフラッシュ機能は働きませんが、撮影モードを「シングル」に設定することで、フラッシュ撮影をすることができます。
  ただし、撮影モードを変更したり、電源をオフにすると「連写」に戻ります。
- 笑顔でも歯が見えていない場合など、笑顔と認識しない場合もございます。

パノラマアシストモードで撮影する

画像の位置を確認しながらパノラマ写真のように撮影できるモードです。

1

モードスイッチをSCNにします。

2

【◀】【▶】で［パノラマアシスト］を選び、

SETを押します。

パノラマアシストモードになります。

3

【◀】【▶】で画像をつなげる方向を選びます。

4

シャッターボタンを押し、撮影します。

1枚目の画像が撮影され、2枚目を撮影する画面が表示されます。

手順 3 で【▶】を選んでいる場合：

画面の左端に、1枚目に撮った画像の右端部分が透過表示されます。

手順 3 で【◀】を選んでいる場合：

画面の右端に、1枚目に撮った画像の左端部分が透過表示されます。

5

カメラを平行移動し、2枚目の画像を撮影します。

3枚目以降も同様に撮影していきますと、つながったような写真が撮影できます。

- パノラマアシストモード時は、顔認識機能、連写機能はは働きません。
- 撮影した画像をカメラでつなげることはできません。

■画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）を設定する

モード設定：📷／SCN／🎥

目的に応じて、画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）を設定できます。
画像サイズを大きくし、画質をファインにすると、画像はよりきれいになりますが、データ容量は大きくなり、記録できる画像枚数が少なくなります。
以下の内容を目安にお試しいただき、目的に応じた設定をしてください。

［静止画］

項目	設定内容		用途の目安
画像サイズ（記録画素数）	12M 3968×2976（約1200万画素）	大きい	大切な画像を撮影したり、A3サイズなど 大きくプリントしたい場合
	8M 3264×2448（約800万画素）		
	4M 2304×1728（約400万画素）		L判サイズでプリントしたい場合
	2M 1600×1200（約200万画素）		
	VGA 640×480（約30万画素）	小さい	より多くの画像を撮影したい場合や、メール添付用などインターネット上で使用したい場合
画質（圧縮率）	ファイン（低圧縮（1/4）モード）	低圧縮	より良い画質で撮影やプリントしたい場合（画質優先）
	スタンダード（標準圧縮（1/8）モード）		より多くの画像を撮影したい場合（撮影枚数優先）
	エコノミー（高圧縮（1/12）モード）	高圧縮	

［動画］

項目	設定内容		用途の目安
画像サイズ（記録画素数）	VGA 640×480	大きい	画質優先
	QVGA 320×240	小さい	撮影時間優先
画質（圧縮率）	ファイン	低圧縮	画質優先
	スタンダード	高圧縮	撮影時間優先

- ここで選んだ画像サイズ、画質は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P37 操作を行うと静止画の画像サイズは12M［3968×2976］に、画質は［ファイン］に、動画の画像サイズはVGA［640×480］に、画質は［ファイン］に戻ります。
- 静止画の画像サイズ、画質は撮影後に変更することができます。
撮影後に画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）を変更する P114

画像サイズを設定する場合

モード設定：📷／SCN／🎥

1 MENUを押して［撮影］メニューを表示させます。

2

［撮影］メニューから【▲】【▼】で［画像サイズ］を選び、

SETを押します。
選択画面が表示されます。

3

【▲】【▼】で設定したい画像サイズを選び、

SETを押します。
選んだ内容を保持し、［撮影］メニューに戻ります。

画質を設定する場合

モード設定：📷／SCN／🎥

1

MENUを押して［撮影］メニューを表示させます。

2

［撮影］メニューから【▲】【▼】で［画質］を選び、

SETを押します。
選択画面が表示されます。

3

【▲】【▼】で設定したい画質を選び、

SETを押します。
選んだ内容を保持し、［撮影］メニューに戻ります。

■ 露出（明るさ）補正を設定する

モード設定：📷／SCN

逆光時の撮影や、間接照明の室内での撮影、背景が明るい場所での撮影など被写体が暗くなってしまった場合に露出を補正できます。

露出を補正する方法には、
・逆光補正モード で撮影する方法
・露出補正の段階を設定して撮影する方法
があります。

逆光補正モードで撮る

逆光補正モードに設定すると、露出補正の段階を+1.3EVに固定して、撮影します。

1

SCNモードから、 （【◀】）を押します。

液晶モニターに が表示され、逆光補正モードに設定されたことをおしらせします。

●以降の操作は通常の撮影時と同様です。

- 逆光補正モードはシャッターボタン半押し時に有効になります。
  半押ししても適正な露出が得られていない場合は、**露出補正の段階を設定して撮る**に従って、露出補正の段階を設定してください。
- ここで設定した逆光補正モードは、撮影モードを変更したり、電源をオフにしたり、**初期設定に戻す** P37 操作を行うと解除されます。
  ただしユーザー設定モードのみ、撮影モードを変更したり、電源をオフにした後も保持されます。
- オート、笑顔認識、夜景、花火、文字モードに設定している場合は逆光補正モードを設定できません。

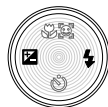
露出補正の段階を設定して撮る

設定できる露出補正の段階（単位：EV（Exposure Value、露出量を表す単位））：
−2.0、−1.7、−1.3、−1.0、−0.7、−0.3、0.0、+0.3、+0.7、+1.0、+1.3、+1.7、+2.0

暗くする　明るくする

📷／SCNモードから、 （【◀】）を2回押します。

液晶モニターに露出補正値が表示されます。

オートやシーンモードで夜景、花火、文字を選んでいる場合には （【◀】）を1回押します。

【◀】【▶】で、露出補正の段階（露出補正値）を選び、

SETを押します。

液晶モニターに選んだ露出補正値が表示されます。

- ヒストグラムを確認しながら、露出補正の段階を設定するとより効果的な補正ができます。
  ヒストグラム表示については、**液晶モニターの表示切替について** P24 をご覧ください。
- ここで選んだ露出補正値は、撮影モードを変更したり、電源をオフにしたり、**初期設定に戻す** P37 操作を行うと [0.0] に戻ります。
  ただしユーザー設定モードのみ、撮影モードを変更したり、電源をオフにした後も保持されます。
- 本機には露出補正の段階を自動的に変えながら連写撮影（3枚）するAE連写モードが搭載されています。
  詳しくは、**連写撮影をする** P98 をご覧ください。
- 笑顔認識モードに設定している場合は露出補正の段階を設定できません。

■ ISO感度（撮像感度）を設定する

モード設定：SCN

ISO感度を設定できます。
ISO感度とは、写真用フイルムの感度を表す単位で、光を感じる能力を数値化したものです。数字の大きいものほど感度が高く、少ない光（暗い場所）での撮影が可能になりますが、画像にノイズが増えます。
ノイズが気になる場合は、ISO感度をなるべく低く設定してください。

オート：カメラが自動的に撮像感度を設定します。**初期設定**

100	：ISO100相当	感度が低い
200	：ISO200相当	
400	：ISO400相当	
800	：ISO800相当	
1600	：ISO1600相当	感度が高い

1 モードスイッチをSCNにします。

2 【◀】【▶】で［ユーザー設定］を選び、

SETを押します。

3 MENUを押して［撮影］メニューを表示させます。

4 ［撮影］メニューから【▲】【▼】で［ISO］を選び、

SETを押します。
選択画面が表示されます。

5 【▲】【▼】で［オート］／［100］／［200］／［400］／［800］／［1600］を選び、

SETを押します。
選んだ内容を保持し、［撮影］メニューに戻ります。

- **ここで選んだISO感度は、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す** P37 **操作を行うと［オート］に戻ります。**
- **ユーザー設定モードの他に、パノラマアシストモードでISO感度を設定できますが、撮影モードを変更したり、電源をオフにすると［オート］に戻ります。**

■ ホワイトバランスを設定する

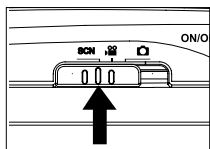
モード設定：SCN

撮影時の光源に合わせて、被写体をより自然な色合いで撮影できるように白を基準に色味を調整するホワイトバランスを設定できます。

（表示なし）**オート**：カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。（色温度2500～7500K）

- **白熱灯**：白熱灯下での撮影 （色温度2800±300K）
- **蛍光灯1**：蛍光灯下での撮影 （色温度4200±400K）
- **蛍光灯2**：蛍光灯下での撮影 （色温度5000±500K）
- **晴天**：太陽光での撮影 （色温度4800±500K）
- **曇天**：曇天での撮影 （色温度6700±600K）
- **マニュアル**：白い紙などを使って、その場の光源に合わせて手動で設定します。

1

モードスイッチをSCNにします。

2

［◀］［▶］で［ユーザー設定］を選び、

SETを押します。

3

MENUを押して［撮影］メニューを表示させます。

4

［撮影］メニューから【▲】【▼】で［ホワイトバランス］を選び、

SETを押します。
選択画面が表示されます。

5

【▲】【▼】でホワイトバランスの種類を選び、

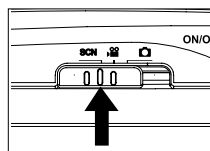
SETを押します。
選んだ内容を保持し、［撮影］メニューに戻ります。

- ここで選んだホワイトバランスは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P37 操作を行うと［オート］に戻ります。
- ユーザー設定モードの他に、パノラマアシストモード、手ぶれ軽減モードでホワイトバランスを設定できますが、撮影モードを変更したり、電源をオフにすると［オート］に戻ります。

マニュアルホワイトバランスを設定する

白い紙など、白を基準としたものをカメラに記憶させ、その場の光源で最適なホワイトバランスを設定できます。
特に以下のような場合は、オートモードではホワイトバランスが調整できない場合がありますので、マニュアルホワイトバランスを設定することをおすすめします。
— 近距離（マクロ）で撮影する場合 — 単一な色の被写体（空、海など）を撮影する場合
— 水銀灯など特殊な光源下で撮影する場合

1

モードスイッチをSCNにします。

2

［◀］［▶］で［ユーザー設定］を選び、

SETを押します。

3

MENUを押して［撮影］メニューを表示させます。

4

［撮影］メニューから［▲］［▼］で［ホワイトバランス］を選び、

SETを押します。
選択画面が表示されます。

5

［▲］［▼］で［マニュアル］を選び、

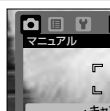
SETを押します。

6

［▲］［▼］で［新規設定］を選び、

SETを押します。
マニュアルWB設定（白データ取込み）画面が表示されます。

7

カメラを白い紙などに向け、液晶モニターの中央の枠いっぱいに白い部分が表示されるように構図を決めて、［▲］［▼］で［実行］を選び、

SETを押します。
［実行］を選ぶと、白データが取り込まれ、［撮影］メニューに戻ります。［ホワイトバランス］は自動的に［マニュアル］に切り替わります。

- 一度設定したマニュアルホワイトバランスは、再度白データを取り込まない限り、保持されます。
- 撮影をする場合は、白データを取り込んだときと同じ条件下で撮影してください。条件が異なると、最適なホワイトバランスが得られない場合があります。
- ユーザー設定モードの他に、パノラマアシストモード、手ぶれ軽減モードでマニュアルホワイトバランスを設定できますが、撮影モードを変更したり、電源をオフにすると［オート］に戻ります。

■ シャープネスを設定する

モード設定：SCN

撮影画像のシャープネス（鮮鋭度）を設定できます。

ハード　　：鮮鋭度が高い
スタンダード：**初期設定**
ソフト　　：鮮鋭度が低い

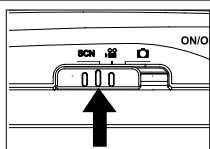
1

モードスイッチをSCNにします。

2

【◀】【▶】で［ユーザー設定］を選び、

SETを押します。

3

MENUを押して［撮影］メニューを表示させます。

4

［撮影］メニューから【▲】【▼】で［シャープネス］を選び、

SETを押します。
選択画面が表示されます。

5

【▲】【▼】で［ハード］／［スタンダード］／［ソフト］を選び、

SET

SETを押します。
選んだ内容を保持し、［撮影］メニューに戻ります。

- ここで選んだシャープネスは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P37 操作を行うと［スタンダード］に戻ります。
- ユーザー設定モードの他に、パノラマアシストモード、手ぶれ軽減モードでシャープネスを設定できますが、撮影モードを変更したり、電源をオフにすると［スタンダード］に戻ります。

■ 色効果を設定する

モード設定：SCN／🎥

撮影画像の色効果を設定できます。

スタンダード：通常の撮影時の設定です。**初期設定**

ビビット：コントラストと色の濃さを強調し、よりくっきりとした色合いで撮影します。

セピア：セピア色で撮影します。

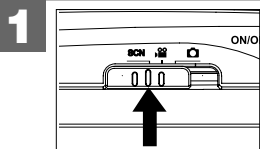
白黒：白黒で撮影します。

ブルー：ブルーで撮影します。

レッド：レッドで撮影します。

グリーン：グリーンで撮影します。

イエロー：イエローで撮影します。

パープル：パープルで撮影します。

1 **モードスイッチをSCNにします。**

🎥 の場合は 3 より操作してください。

2 **【◀】【▶】で［ユーザー設定］を選び、**

SETを押します。

MENUを押して［撮影］メニューを表示させます。

4 **［撮影］メニューから【▲】【▼】で［色効果］を選び、**

SETを押します。

選択画面が表示されます。

5 **【▲】【▼】で色効果の種類を選び、**

SETを押します。

選んだ内容を保持し、［撮影］メニューに戻ります。

ここで選んだ色効果は、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す **P37** **操作を行うと［スタンダード］に戻ります。**

- **ユーザー設定モードの他に、パノラマアシストモード、手ぶれ軽減モード、人物モードで色効果を設定できますが、撮影モードを変更したり、電源をオフにすると［スタンダード］に戻ります。**

■ コントラストを設定する

モード設定：SCN

撮影画像のコントラスト（明暗の差）を設定できます。

高：明暗がはっきりする

中：**初期設定**

低：明暗が平坦になる

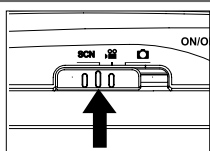
1

モードスイッチをSCNにします。

2

【◀】【▶】で［ユーザー設定］を選び、

SETを押します。

3

MENUを押して［撮影］メニューを表示させます。

4

［撮影］メニューから【▲】【▼】で［コントラスト］を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。

5

【▲】【▼】で［高］／［中］／［低］を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、［撮影］メニューに戻ります。

- ●ここで選んだコントラストは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P37 操作を行うと［中］に戻ります。
- ●ユーザー設定モードの他に、パノラマアシストモード、手ぶれ軽減モードでコントラストを設定できますが、撮影モードを変更したり、電源をオフにすると［中］に戻ります。

■ 測光方式を設定する

モード設定：SCN

測光方式を切り替えて撮影できます。

マルチ　：中央部重点平均測光で、画面中央部の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。**初期設定**

スポット　：液晶モニター中央部のフォーカスフレーム内を測光します。画面中央の被写体に露出を合わせたい場合に使用します。

アベレージ：液晶モニター画面全体を平均的に測光します。

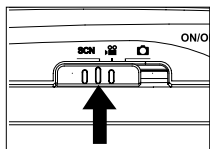
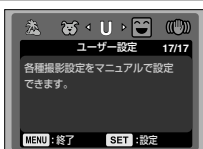
1

モードスイッチをSCNにします。

2

【◀】【▶】で［ユーザー設定］を選び、

SETを押します。

3

MENUを押して［撮影］メニューを表示させます。

4

［撮影］メニューから【▲】【▼】で［測光方式］を選び、

SETを押します。
選択画面が表示されます。

5

【▲】【▼】で［マルチ］／［スポット］／［アベレージ］を選び、

SETを押します。
選んだ内容を保持し、［撮影］メニューに戻ります。

- ここで選んだ測光方式は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P37 操作を行うと［マルチ］に戻ります。
- ユーザー設定モードの他に、パノラマアシストモード、手ぶれ軽減モードで測光方式を設定できますが、撮影モードを変更したり、電源をオフにすると［マルチ］に戻ります。

■ 連写撮影をする

モード設定： ／SCN

本機は連写撮影をすることができます。
連写撮影には、

連写：フラッシュオフの連写撮影で、3枚（およそ1〜2秒間隔）の連写撮影ができます。

ＡＥ連写：露出補正の段階を自動的に変えながら3枚（0.0、−0.7EV、+0.7EV）の画像を撮影します。
被写体の明るさによってうまく撮影できない場合などに、AE連写で撮影すると、撮影したあとに最適な露出の画像を選ぶことができます。
（AE：Auto Exposureの略）

マニュアル連写：フラッシュオフの連写撮影で、シャッターボタンを押している間はおよそ1〜2秒間隔の連写撮影ができます。

フラッシュ連写：フラッシュオンの連写撮影で、3枚（およそ1〜2秒間隔）の連写撮影ができます。

の4種類があります。目的に応じて設定してください。

- **画像サイズや画質の設定によって、連写撮影の間隔が異なることがあります。**
- **各シーンモードによっては設定できない場合があります。**

1

MENUを押して［撮影］メニューから、

【◀】【▶】で［機能］メニューを表示させます。

2

［機能］メニューから【▲】【▼】で［撮影モード］を選び、

SETを押します。
選択画面が表示されます。

3

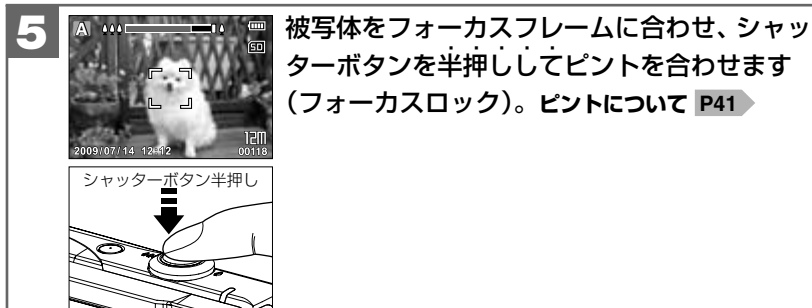
【▲】【▼】で設定したい連写モードを選び、

SETを押します。
選んだ内容を保持し、［機能］メニューに戻ります。

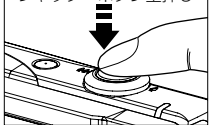
［シングル］は通常の1枚ずつ撮影するモードです。初期設定

［アルバム撮影］は1枚の画像に3枚の写真を貼り付けアルバムのように撮影するモードです。**P101**

4

MENUを押して、［機能］メニューを終了します。
液晶モニターに選んだ連写モードのアイコンが表示されます。

5

被写体をフォーカスフレームに合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます（フォーカスロック）。 **ピントについて P41**

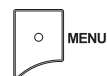
6

半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。

- 操作音の設定が［オン］になっている場合（初期設定は［オン］P68）は、シャッター音で撮影されたことをおしらせします。
- 撮影したあとに、動作確認用ランプが点滅している場合は、SDメモリーカードへ画像記録中のため、次の撮影はできません。

- ここで選んだ撮影モードは、撮影モードを変更したり、電源をオフにしたり、**初期設定に戻す** P37 操作を行うと［シングル］に戻ります。ただし、ユーザー設定モードの場合は初期設定に戻す操作を行った場合のみ［シングル］に戻ります。
- ［連写］／［AE連写］／［マニュアル連写］を選んでいる場合は、ストロボは発光しません。Ⓢモードになります。

アルバム撮影モードで撮影する

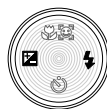
アルバム撮影は1枚の画像に3枚の写真を貼り付けアルバムのように撮影するモードです。

各シーンモードによっては設定できない場合があります。

1

MENU

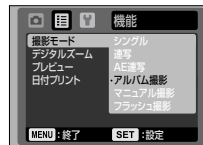
MENUを押して［撮影］メニューから、

【◀】【▶】で［機能］メニューを表示させます。

2

［機能］メニューから【▲】【▼】で［撮影モード］を選び、

SETを押します。

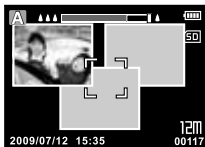
選択画面が表示されます。

3

【▲】【▼】で［アルバム撮影］を選び、

SET

SETを押します。

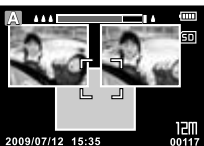
選んだ内容を保持し、［機能］メニューに戻ります。

4

MENUを押して静止画撮影モードにします。

液晶モニターに3つのフレームが表示され、1つ目のフレームがアクティブになります。

5

このままでも撮影できますが、【▼】を押すと通常の全画面表示になります。

6

シャッターボタンを押すと、1つ目のフレームに撮影した画像が表示されます。

2つ目のフレームがアクティブになります。

7

続けて2枚目、3枚目を撮影します。

それぞれ2つ目、3つ目のフレームに撮影した画像が表示されます。

[アルバム撮影] は、撮影モードを変更したり、電源をオフにしたり、**初期設定に戻す** P37 操作を行うと [シングル] に戻ります。
ただし、ユーザー設定モードの場合は、初期設定に戻す操作を行った場合のみ [シングル] に戻ります。

■ セルフタイマーで撮る

モード設定：📷／SCN／🎥

本機はセルフタイマー機能を使用して撮影することができます。
セルフタイマー撮影を行う場合は、三脚を使用するなどしてカメラを固定して撮影してください。

2：2秒後に撮影されます。
・暗い場所やズームを使うなど手ぶれが起きやすい条件下での撮影時に、シャッターボタンを押したときのカメラぶれを防ぐのに効果的です。

10：10秒後に撮影されます。

10+2：10秒後と引き続きその2秒後の2回撮影されます。(静止画撮影時のみ)
・集合写真などを撮影する場合に、念の為に2回撮影しておきたい場合などに便利です。

1

📷／SCN／🎥 モードで、(【▼】) を押します。

セルフタイマー設定選択画面になります。

2

設定したいタイマー時間を【◀】【▶】で選び、

SET

SETを押します。

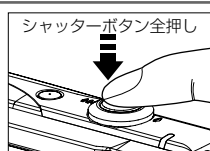
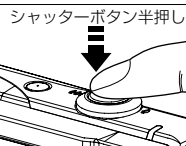
液晶モニターに選んだタイマー時間がアイコン表示されます。
(オフの場合は表示されません)

3

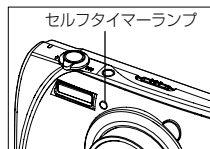
被写体をフォーカスフレームに合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます（フォーカスロック）。

ピントについて P41

4

シャッターボタン全押し

セルフタイマーランプ

半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。

・セルフタイマーランプ（レッド）の点滅と液晶モニター内に数字がカウントダウン表示され、セルフタイマー撮影を開始し、選んだタイマー時間後に撮影されます。

- セルフタイマー撮影を途中で解除する場合は、シャッターボタンを押します。
- 撮影モードを［連写］、［AE連写］、［マニュアル連写］、［フラッシュ連写］に設定している場合 P98 やパノラマアシストモードの場合は、10+2はできません。
- 笑顔認識モードの場合はセルフタイマー機能は設定できません。
- 撮影時の各設定（画像サイズ、画質、ズーム、ホワイトバランス、露出補正値など）はセルフタイマー時も有効です。
- 一度セルフタイマー撮影を行うと、セルフタイマー機能は解除されます。続けてセルフタイマー撮影を行う場合は、再度設定し直してください。

■ 日付プリントを設定する

モード設定：／SCN

撮影画像に撮影時の日付を焼き付ける（初期設定は［オフ］）ことができます。

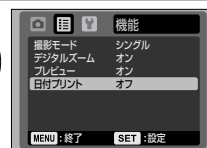
日付プリントの設定を［オン］にして撮影すると、撮影画像のJPEGファイル自体（右下部）に日付が焼き付けられます。プリンタなどの設定でファイルの日付情報を印刷する操作とは異なりますのでご注意ください。

1

MENU

MENUを押して［撮影］メニューから、

【◀】【▶】で［機能］メニューを表示させます。

2

［機能］メニューから【▲】【▼】で［日付プリント］を選び、

SETを押します。

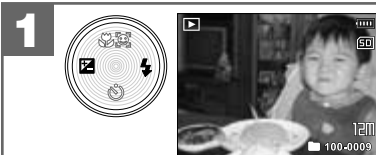
選択画面が表示されます。

3

【▲】【▼】で［オン］／［オフ］を選び、

SET

SETを押します。

選んだ内容を保持し、［機能］メニューに戻ります。

- ここで選んだ日付プリントは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P37 操作を行うと［オフ］に戻ります。
- 日付プリントの文字は白のため、背景が同様の色の場合は文字が見えにくい場合があります。
- 日付プリントの形式や、文字の色や大きさを設定することはできません。

再生（静止画・動画）について

■ 赤目を補正する

モード設定：▶

ストロボ撮影で赤く写ってしまった目を補正することができます。

1

【◀】【▶】で赤目を補正したい画像を選びます。

動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。

2

MENUを押して［再生］メニューを表示させます。

3

［再生］メニューから【▲】【▼】で［赤目補正］を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。

4

【▲】【▼】で［キャンセル］／［実行］を選び、

SETを押します。

・［キャンセル］を選ぶと赤目補正を中止して、［再生］メニューに戻ります。
・［実行］を選ぶと、赤目補正を実行し、上書きを確認する画面が表示されます。

5

【▲】【▼】で [キャンセル]／[実行] を選び、

SETを押します。

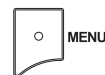
・[キャンセル] を選ぶと赤目補正を中止して、[再生] メニューに戻ります。
・[実行] を選ぶと、赤目補正された画像が元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存され、[再生] モードに戻ります。

●写真によっては赤目を補正できない場合もございます。
●動画像の場合は赤目を補正できません。

■ スライドショー再生をする

モード設定：▶

メモリー内にある全ての画像を設定した秒数間隔で（初期設定は [3秒] スライドショー再生することができます。

1

MENUを押して [再生] メニューを表示させせます。

2

[再生] メニューから【▲】【▼】で [スライドショー] を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。

3

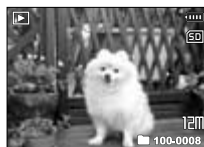
【▲】【▼】で [3秒]／[5秒]／[10秒] を選び、

SETを押します。

設定した秒数間隔で、表示中の画像からスライドショー再生を開始します。

→

→

・・・・・・・

・再生中に、**SET**を押すと、スライドショー再生をストップします。

●動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。
●スライドショー再生中の表示は切り替えることはできません。
●スライドショー再生中は**オートパワーオフ機能** P31 ははたらきません。

■ 画像プロテクトを設定する

モード設定：▶

誤操作による画像の消去などを防止するために、画像ファイルにプロテクトをかけることができます。
画像プロテクトを設定する方法には、
・1枚ずつプロテクトを設定する
・全ての画像のプロテクトを設定する
の2つの方法があります。

- プロテクトされた画像は消去できません。消去したい場合は、プロテクト設定を解除してください。
- プロテクトされた画像は、画像の消去時は有効ですが、**フォーマットする** P121 操作を行うと消去されます。
- プロテクトを設定していなくても、SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチ P36 を、「LOCK」側にすると画像の消去はできません。

1枚ずつプロテクトを設定する

1

【◀】【▶】でプロテクトを設定したい画像を選びます。
動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。

MENUを押して［再生］メニューを表示させます。

［再生］メニューから【▲】【▼】で［画像プロテクト］を選び、

SETを押します。
画像プロテクトの方法選択画面が表示されます。

【▲】【▼】で［現在の画像］を選び、

SETを押します。
プロテクト確認の画面が表示されます。

【▲】【▼】で［設定］／［解除］／［終了］を選び、

SETを押します。
選んだ内容を実行します。
続けてプロテクト設定を行う場合は、再度**MENU**を押して［再生］メニューから操作してください。

・［設定］を選ぶと、選んだ画像がプロテクトされ、液晶モニターに O‒ が表示されます。

液晶モニターの表示が「オフ」に設定されている場合は、O‒ は表示されません。

・［解除］を選ぶと、選んだ画像のプロテクトが解除されます。
・［終了］を選ぶと、プロテクト設定を終了します。

全ての画像のプロテクトを設定する

1

MENUを押して［再生］メニューを表示させます。

2

［再生］メニューから【▲】【▼】で［画像プロテクト］を選び、

SETを押します。

画像プロテクトの方法選択画面が表示されます。

3

【▲】【▼】で［全ての画像］を選び、

SETを押します。

プロテクト確認の画面が表示されます。

4

【▲】【▼】で［設定］／［解除］／［終了］を選び、

SETを押します。

選んだ内容を実行します。

続けてプロテクト設定を行う場合は、再度**MENU**を押して［再生］メニューから操作してください。

・［設定］を選ぶと、全ての画像がプロテクトされ、液晶モニターに 0┳ が表示されます。

液晶モニターの表示が「画像のみ」に設定されている場合は、0┳ は表示されません。

・［解除］を選ぶと、全ての画像のプロテクトが解除されます。

・［終了］を選ぶと、プロテクト設定を終了します。

■ 撮影後に画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）を変更する

モード設定：▶

撮影した静止画の画像サイズと画質を変更することができます。メールで添付する場合や内蔵メモリーやSDメモリーカードの空き容量が足りなくなった場合などに便利です。

- **画像サイズを大きくしたり、画質を上げることはできません。**
- 動画の画像サイズと画質は変更できません。

画像サイズを変更（リサイズ）する

1

MENUを押して［再生］メニューを表示させます。

2

［再生］メニューから【▲】【▼】で［リサイズ］を選び、

SETを押します。
選択画面が表示されます。

3

【▲】【▼】で画像サイズを選び、

選択不可の数値はグレーで表示されます。

SET

SETを押します。

リサイズした画像は元の画像サイズに戻すことはできません。操作は慎重に行ってください。

画質を変更する

1

MENUを押して［再生］メニューを表示させます。

2

［再生］メニューから【▲】【▼】で［画質変更］を選び、

SET

SETを押します。
選択画面が表示されます。

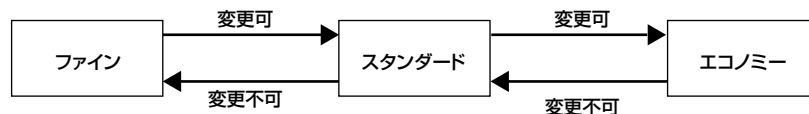
3

【▲】【▼】で画質を選び、

選択不可の項目はグレーで表示されます。

SET

SETを押します。

画質を変更した画像は元の画質に戻すことはできません。操作は慎重に行ってください。

■ 内蔵メモリーからSDメモリーカードに画像をコピーする（コピー to SDカード機能）　モード設定：▶

内蔵メモリー（32MB）に入っている画像をSDメモリーカードへコピーすることができます。
SDメモリーカードの空き容量が無くなり、内蔵メモリーを使用して撮影した場合などで、後で画像をSDメモリーカードにコピーしたいときなどに便利です。

- 本機能は内蔵メモリー内に画像がある場合で、SDメモリーカードを使用（挿入）している場合にのみ有効です。
- 本操作を行うときは、**必ずバッテリー残量を確認してから行ってください。**
  コピー中に電源がオフになると、正しくコピーされず、記録されているデータが破損したり、SDメモリーカードが正常に使用できなくなる場合があります。
  バッテリー残量が ▭ の場合は、**バッテリーを充電してから本操作を行うことをおすすめします。**
- 本操作を行うと、内蔵メモリー内にある全ての画像をSDメモリーカードにコピーします。コピーする画像を選ぶことはできません。
- 本操作を何回も続けて行うと、SDメモリーカード内には、同じ画像が何枚もコピーされます。

1

MENUを押して［再生］メニューを表示させます。

2

［再生］メニューから【▲】【▼】で［カードへコピー］を選び、

SETを押します。
選択画面が表示されます。

3

【▲】【▼】で［キャンセル］／［実行］を選び、

SETを押します。
・［キャンセル］を選ぶとコピーを中止して、シングル再生画面に戻ります。
・［実行］を選ぶと、内蔵メモリー内にある全ての画像をSDメモリーカードにコピーしてシングル再生画面に戻ります。

SDメモリーカード内の空き容量が足りない場合は、コピー可能な画像のみをコピーして、コピーを途中で終了します。

■ 撮影したあとに音声メモを入れる(アフレコ機能)

モード設定：▶

撮影した画像にあとから音声メモを入れる（録音する）（初期設定は **[オフ]**）ことができます。

- 既に録音されている音声メモや一度録音した音声メモを録音し直すことはできません。また、録音された音声メモのみを消去することはできません。
- 動画像に音声メモを入れることはできません。
- 音声メモファイルについては、**音声メモファイルについて** P120 をご覧ください。

1

MENUを押して [再生] メニューを表示させます。

2

[再生] メニューから【▲】【▼】で [音声メモ] を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。

3

【▲】【▼】で [オン] を選び、

SETを押します。

4

MENUを押して再生画面に戻ります。

5

【◀】【▶】で音声メモを入れたい静止画像を選びます。

既に音声メモが録音されている画像には SET:Play と表示されます。

6

SETを押すと、VOICE RECORDING と表示され、音声メモ録音を開始します。

7

音声メモ録音をストップする場合は、SETを押します。

VOICE RECORD END と表示され、音声メモ録音をストップします。

- 音声メモ録音は、最長約30秒です。SETを押さなくても、約30秒で自動的にストップします。
- メモリー残量が少ない場合は、録音できない場合があります。
- カメラ前面部にあるマイクを指などでふさがないようにご注意ください。また録音の対象がカメラから離れるときれいに録音できません。

■ 音声メモを再生する

モード設定：▶

アフレコ機能で録音した音声メモを再生することができます。

1

【◀】【▶】で音声メモが録音されている静止画像を選びます。

音声メモが録音されている画像には 🎙 SET :Play と表示されます。

2

SETを押すと、 VOICE PLAYBACK と表示され、録音された音声メモの再生を開始します。

3

SET

音声メモ再生をストップする場合は、SETを押します。

音声メモ再生をストップします。

音声メモファイルについて

記録ファイルフォーマット	WAV（PCM方式）/モノラル
録音時間	最長約30秒

音声メモファイル（ファイル形式：WAV）をパソコンで再生するには、Windows Media Playerなどの記録ファイルフォーマットに対応した再生用のソフトウェアが必要です。

消去について

■ フォーマットする

モード設定：📷／SCN／🎥／▶

フォーマット（初期化）とは内蔵メモリーまたはSDメモリーカードに画像およびデータを記録できるようにする作業のことです。

SDメモリーカードについて P12 をあわせてご覧ください。

- 新しいSDメモリーカードや、他のデジタルカメラやパソコンで使用されたSDメモリーカードを使用する場合は、本機で**フォーマット**してから使用してください。
- フォーマットすると内蔵メモリーまたはSDメモリーカード内のデータがすべて消去されますので、**内容をよく確かめてから操作してください。一度消去してしまったデータは二度と元に戻すことはできません。**

※プロテクトされている画像 P110 **も消去されます。**

- フォーマットを行うときは、バッテリー残量を確認してから行ってください。フォーマット中に電源がオフになると、正しくフォーマットされず、SDメモリーカードが正常に使用できない場合があります。

1

MENUを押して各メニューから、

【◀】【▶】で［設定］メニューを表示させます。

[設定] メニューから【▲】【▼】で[フォーマット] を選び、

SETを押します。

- この時点ではまだフォーマットされていません。

【▲】【▼】で [キャンセル] ／ [実行]を選び、

SETを押します。

・[キャンセル] を選ぶと、フォーマットを中止して、[設定] メニューに戻ります。
・[実行]を選ぶと、フォーマットが実行され、「画像がありません」と表示されます。操作は慎重に行ってください。

パソコン接続編

パソコンに接続して画像ファイルを取り込む方法について説明します。

■ パソコンの動作環境を確認する

パソコンとUSB接続(撮影画像の取り込みなど)する場合には、以下の条件が揃っていることが必要です。
接続する前に必ずご確認ください。

□OS:Microsoft Windows 2000/XP/Vista 日本語版
□USBインターフェース(1.1仕様)を標準装備している機種

- OSはプリインストールしたモデルに限ります。自作パソコンや上記のOSでもアップグレードされた場合の動作は保証いたしません。
- USBハブや拡張USBボードに接続した場合の動作は保証いたしません。
- 機器の構成によっては正常に動作しない場合があります。

■ パソコンと接続する場合の流れ

以下の手順で、デジタルカメラから、撮影した画像ファイルをパソコンにコピーしたり、デジタルカメラをリムーバブルディスク(リーダ/ライタ)として使用したりできます。
パソコンには[リムーバブルディスク]として認識されます。

1 カメラとパソコンを接続する P125
※初回接続時は[新しいハードウェアが見つかりました]ウィザードが表示され、自動的にパソコンがカメラを認識する動作をを行います。

↓

2 [マイコンピュータ]を開き、[リムーバブルディスク](=カメラ)内から画像ファイルをパソコンにコピーする P127

↓

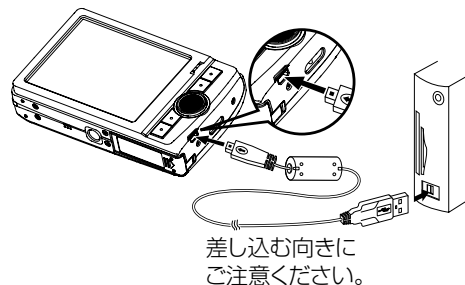
3 カメラを取り外す P129

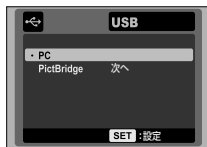
1 カメラとパソコンを接続する

USB接続時のご注意

- カメラとパソコンを接続する場合は、必ずカメラの電源をオフにして行ってください。
- USB接続中は**オートパワーオフ機能** P31 ははたらきません。
- カメラとパソコンを接続する場合は、バッテリー残量が十分にあることを必ず確認してください。
  パソコンとの接続中は、オートパワーオフ機能などははたらきませんが、バッテリー残量がなくなると、カメラは途中で電源がオフになります。
  接続中にカメラの電源がオフになると、パソコンが正常に動作しなくなったり、記録されているデータが破損する恐れがあります。
- 電源はパソコン本体から供給されません。
- コピー(通信)中はUSBケーブルを抜いたり、カメラの電源をオフにしたりなど、カメラの操作をしないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。
- カメラを取り外すときは、必ず**カメラを取り外すときは** P129 に従って操作してください。
- パソコンでのフォーマットは行わないでください。

1 カメラの電源をオフにして、USBケーブルの大きいコネクタをパソコン本体のUSBポートへ、小さいコネクタをカメラのUSB端子(AV兼用)へしっかりと接続します。
パソコンは起動した状態で操作してください。

差し込む向きにご注意ください。

2 カメラの電源をオンにします。
[USB] メニューが表示されます。

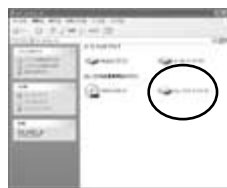
3

[USB] メニューから【▲】【▼】で[PC]を選び、

SETを押します。

- [PictBridge] はPictBridgeに対応したプリンタに直接接続する場合 P134 に選ぶモードです。パソコンに接続する場合は、[PC] を選んでください。
- 初回接続時は、自動的にパソコンがカメラを認識する動作をを行うため、[新しいハードウェアが見つかりました] ウィザードが表示される場合があります。
設定が終わると消えますので、そのままお待ちください。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示された場合は、[次へ] をクリックし、画面の指示に従ってください。
「検索ウィザードの完了」画面が表示されたら、[完了] をクリックします。
- Windows XPをお使いで、[パソコン接続] を選んだ場合に、OS側の自動再生ウィザードが表示された場合は、[何もしない] を選び、[OK] をクリックします。

2 画像ファイルをパソコンにコピーする(リーダ／ライタ接続)

市販の画像編集ソフトなどを使って、画像ファイルを編集する場合は、以下の操作で画像ファイルを任意の場所（マイドキュメント内など）へコピーしてから行うことをおすすめします。

1

1 カメラとパソコンを接続する P125 に従い、カメラとパソコンを接続し、[マイコンピュータ] または [コンピュータ] から [リムーバブルディスク] をダブルクリックして開きます。

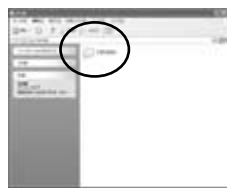
- [リムーバブルディスク] が表示されていない場合は、**パソコン接続でお困りの時の確認方法** P130 をご覧ください。

2

[DCIM] フォルダをダブルクリックして開きます。

3

[100_HCAM]（コピーしたい画像の入っている）フォルダをダブルクリックして開きます。

4

パソコンにコピーする（取り込む）画像ファイルをフォルダ内から選び、任意の場所（マイドキュメント内など）にドラッグ&ドロップしてコピーします。

- 同様に任意の場所（マイコンピュータなど）から任意のデータを、フォルダ（カメラ）内にドラッグ&ドロップしてコピーすることができます。

ドラッグ& ドロップについて

マウスを使った操作法の一つで、マウス操作によってデータやファイルの移動を行うことです。
画面上でマウスポインタがファイルのアイコンなどに重なった状態でマウスのボタンを押し、そのままの状態でマウスを移動（ドラッグ）させ、別の場所でマウスのボタンを離す（ドロップ）ことです。

- コピー（通信）中はUSBケーブルを抜いたり、カメラのボタン類を押したりしないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。
- フォルダ（カメラ）内にコピーしたデータは**フォーマットする** P117 操作を行うと、すべて消去されてしまいます。操作には十分ご注意ください。
- コピー先に同じファイル名の画像がある場合は、元の画像を上書きしてもよいか確認するメッセージが表示されます。上書きすると、元のファイルは消去されます。

3 カメラを取り外すときは

カメラを取り外すときは、必ず以下の手順に従って操作してください。この操作を行なわずにカメラを取り外したり、USBケーブルを抜くと、パソコンが正常に動作しなくなったり、記録されているデータが破損する恐れがあります。

1 カメラを利用しているアプリケーションをすべて終了します。

2

タスクバー

タスクバー上の［ハードウェアの取り外し］アイコンをクリックし、取り外すドライブを選んで［停止します（取り外します）］をクリックします。

〈Windows Vistaの場合〉

〈Windows XPの場合〉 USB 大容量記憶装置デバイス－ドライブ（E:）を安全に取り外します

〈Windows 2000の場合〉 USB 大容量記憶装置デバイス －ドライブ（J:）を停止します

［停止します（取り外します）］をクリックした際に、「カメラを停止できません」という警告画面が表示される場合があります。その場合は、カメラとパソコンが通信中でないことを確認し、カメラを取り外します。

3 「安全に取り外すことができます」ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックします。
（Windows XPでは［OK］のクリックは不要です。）

4 カメラを取り外します。

■ パソコン接続でお困りの時の確認方法

カメラをパソコンに接続しても、「パソコンに認識できない」場合等、パソコン接続でお困りの場合は、以下をご確認ください。

1 **最初に、ご使用のパソコンに接続されておりますすべてのUSB機器を取り外し、パソコンとカメラのUSB端子にカメラに同梱いたしております専用のUSBケーブルの端子が奥までしっかり装着されているか、ご確認ください。**

2 **パソコンのオペレーティングシステム(以下、OS)は何ですか？**

Windows 98/98SE/ME→弊社カメラはWindows ME以前のOSのサポートはいたしておりません。

Windows 2000/XP/Vista→ **3** へ進んでください。

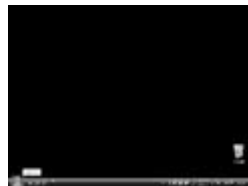
3 **バッテリー残量が十分にあることを確認してください。** P29

確認結果：認識されない。→Windows Vistaをご使用の場合は、**4** へ進んでください。

Windows 2000/XPをご使用の場合は **5** へ進んでください。

認識された。→電池が消耗していたと思われます。

4 **次の手順で、パソコンにカメラが認識されているか確認してください。**

確認手順：

1）“スタート” をクリックする。

2）“コンピュータ”を右クリックし、“プロパティ” を選択する。
“プロパティ” が表示されない。
→ **8** へ進んでください。

3）システム情報の画面が表示されます。

4）システム情報の画面の左上側の“デバイスマネージャ”を選択する。

5）“ユーザーアカウント制御”の画面が表示されますので、“続行”を選択する。

6）“デバイスマネージャ”が開きます。

7）“デバイスマネージャ”の中の“ユニバーサルシリアルバスコントローラ”の左側の“+” をクリックする。

8）“ユニバーサルシリアルバスコントローラ”の詳細が表示されます。

9）“ユニバーサルシリアルバスコントローラ”の中に“USB大容量記憶装置” が表示されているかを確認する。

確認結果：“USB大容量記憶装置デバイス” が表示されている。
→ **6** へ進んでください。
“USB大容量記憶装置デバイス” が表示されていない。
→ **10** へ進んでください。

5 次の手順で、パソコンにカメラが認識されているか確認してください。

確認手順：

1）“スタート” をクリックする。

2）“マイコンピュータ” を右クリックし、“プロパティ” を選択する。
“プロパティ” が表示されない。
→ 8 へ進んでください。

3）“システムのプロパティ” が開きます。
4）“システムのプロパティ” 上段の “ハードウェア” を選択する。

5）“デバイスマネージャ” をクリックする。

6）“デバイスマネージャ” が開きます。
7）“デバイスマネージャ” の中の “USB”（Universal Serial Bus）コントローラの左側の “+” をクリックする。

8）“USB”（Universal Serial Bus）コントローラの詳細が表示されます。
9）“USB”（Universal Serial Bus）コントローラの中に “USB大容量記憶装置デバイス” が表示されているかを確認する。

確認結果： “USB大容量記憶装置デバイス” が表示されている。
→ 6 へ進んでください。
“USB大容量記憶装置デバイス” が表示されていない。
→ 10 へ進んでください。

6 他のパソコンに接続した場合、カメラはパソコンに認識されますか？

はい： 7 へ進んでください。
いいえ： 10 へ進んでください。

7 カメラが認識されないパソコンに再度接続して認識できますか？

はい： 11 へ進んでください。
いいえ： 9 へ進んでください。

8 “コンピュータ”（Windows Vistaの場合）もしくは、“マイコンピュータ”（Windows 2000/XPの場合）の “プロパティ” が表示されない。

要因： ・パソコンの管理者による制限が施されている可能性があります。パソコンの管理者に確認してください。

9 “USB大容量記憶装置”が表示されているが、“コンピュータ” 等に表示されない。（Windows Vistaの場合）“USB大容量記憶装置デバイス” が表示されているが、“マイコンピュータ” 等に表示されない。（Windows 2000/XPの場合）

要因： ・パソコンのシステムもしくは、パソコンのソフトウェア等に起因している可能性があります。パソコンの管理者もしくは、パソコンメーカー様へ、ご確認下さい。

10 “USB大容量記憶装置”（Windows Vistaの場合）もしくは、“USB大容量記憶装置デバイス”（Windows 2000/XPの場合）が表示されていない”

要因： ・カメラもしくはUSBケーブルが壊れている可能性がございますので、ご購入店へお持ちください。
・パソコンのUSB端子もしくは、システム上の問題である場合もございます。詳しくは、パソコンメーカー様等へ、ご確認下さい。

11 カメラをパソコンに再接続したら正常に認識できた。

要因： ・パソコンへのUSB接続時の認識が何らかの要因により失敗したことによる可能性が考えられます。数回接続確認をしていただき、パソコンに認識されるようでしたら、ご使用いただいて問題はございません。

プリント編

PictBridgeに対応したプリンタに直接接続して、撮影した画像をプリントする方法について説明します。

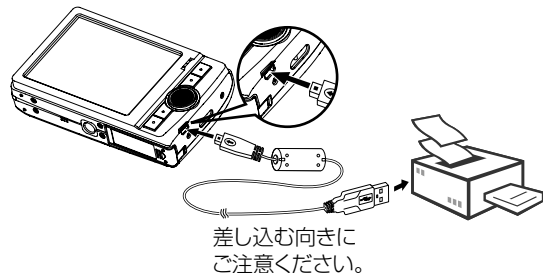
PictBridge（ピクトブリッジ）はカメラ映像機器工業会（CIPA）が制定した、デジタルカメラとプリンタを直接接続して印刷するための規格で、PictBridge対応の機器同士はUSBケーブルで接続して直接印刷を行なうことができます。

本製品は、USBケーブル(付属)を使って、PictBridgeに対応したプリンタに直接接続し、本機の液晶モニター上で、プリントする画像を選んだり、プリントの開始を指示することができます。

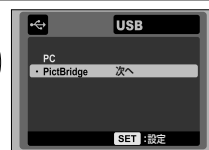
USB(PictBridge)接続時のご注意

- プリンタがPictBridgeに対応していない場合は、本機能を使用することはできません。
- カメラとプリンタを接続する場合は、必ずカメラの電源をオフにして行ってください。また、プリンタの状態(インク残量など)を事前に確認してください。インク残量が少なくなっている場合などは、「エラー」などの警告表示が表示され、正しく動作しない場合があります。
- USB接続中は**オートパワーオフ機能** P31 ははたらきません。
- カメラとプリンタを接続する場合は、バッテリー残量が十分にあることを必ず確認してください。
  プリンタとの接続中は、オートパワーオフ機能などははたらきませんが、バッテリー残量がなくなると、カメラは途中で電源がオフになります。
  プリント中にカメラの電源がオフになると、プリンタが正常に動作しなくなったり、記録されているデータが破損する恐れがあります。
- 電源はプリンタから供給されません。
- プリント中はUSBケーブルを抜いたり、カメラの電源をオフにしたりなど、カメラの操作をしないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。

1 カメラの電源をオフにして、USBケーブルの大きいコネクタをプリンタのUSBポートへ、小さいコネクタをカメラのUSB端子(AV兼用)へしっかりと接続します。

差し込む向きに
ご注意ください。

2 カメラの電源をオンにします。

[USB] メニューが表示されます。

3

[USB] メニューから【▲】【▼】で[PictBridge]を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。

4

【▲】【▼】で設定したい項目を選び、

SETを押して設定します。

プリント編

5

USB
PictBridge
画像選択 次へ
日付プリント オフ
用紙サイズ プリンタ優先
レイアウト プリンタ優先
・印刷
SET：設定

設定したい項目を設定したら、【▲】【▼】で［印刷］を選び、

SETを押します。
“印刷中”と表示され、プリントが開始されます。

「エラー」などの警告表示が表示された場合は、プリンタの状態（インク残量など）を再度確認してください。

プリントが終了すると、“終了しました”と表示され、

USB
PictBridge
・画像選択 次へ
日付プリント オフ
用紙サイズ プリンタ優先
レイアウト プリンタ優先
印刷
SET：設定

［プリンタ接続］メニューに戻ります。

6 **プリントが終了したら、電源をオフにしてカメラを取り外します。**

［プリンタ接続］メニューで設定できる項目

メニュー項目	内　　容
画像選択	［選んで印刷］･･･プリントしたい画像やプリント枚数（0枚〜99枚）を1枚ずつ選びます。 【◀】【▶】：画像選択 【▲】【▼】：枚数選択 ［全て印刷］･･･全ての画像を1枚ずつプリントします。 ［戻る］･･･プリンタ接続メニューに戻ります。 **●プリントするために必ず設定する項目です。** **●動画像は選択できません。**
日付プリント	［オン］／［オフ］･･･日付プリントのオン／オフを設定します。 **●日付プリントの形式を設定することはできません。** **●プリンタが日付プリントに対応していない場合は、［オン］は表示されません。** **●日付プリントの設定は、プリンタ側の設定内容に関わらず、カメラ側の設定内容が優先されます。**
用紙サイズ	［プリンタ設定］･･･プリンタの設定が優先されます、 ［L判］89mm×127mm、［2L判］127mm×178mm **表示以外の用紙サイズでプリントしたい場合は、プリンタ側にてサイズを設定し、［プリンタ設定］を選択してください。**
レイアウト	［プリンタ設定］･･･プリンタの設定が優先されます、 ［2分割］、［4分割］、［インデックス］、［フチなし］ **表示以外のレイアウトでプリントしたい場合は、プリンタ側にてレイアウトを設定し、［プリンタ設定］を選択してください。**

付録

付録

■ 故障とお考えになる前に

バッテリー・電源

症状	原因	処置
電源がオンにならない。	●電源ボタンを押す操作が短すぎた。	→もう一度しっかりと電源ボタンを押す。P31
	●バッテリーが正しく入っていない。	→バッテリーを正しく入れる。P28
	●バッテリーが消耗している。	→バッテリーを充電する P30 か、十分に充電されたバッテリーを使う。
	●内部システムなどの誤動作。	→バッテリーを5秒以上取り外し、もう一度バッテリーを正しく入れてから、電源をオンにする。
バッテリーの消耗が早い。	●温度が極端に低いところで使用している。	—
	●高解像度、ストロボ撮影を多用している。	—
	●再生画面を多用している。	—
電源が途中でオフになる。	●オートパワーオフ機能 P31 がはたらいた。	→もう一度電源をオンにする。P31
	●バッテリーが消耗している。	→バッテリーを充電する P30 か、十分に充電されたバッテリーを使う。
バッテリーの残量表示が正しく表示されない。	●温度が極端に高いまたは低いところで使用している。	—
	●バッテリーが消耗している。	→バッテリーを充電する P30 か、十分に充電されたバッテリーを使う。
	●ストロボ充電している。	→充電が終わるまでお待ちください。

静止画・動画を撮る

症状	原因	処置
液晶モニターに被写体が写らない。	● 再生画面になっている。	→モードスイッチを 静止画オート撮影モード、SCN静止画撮影シーンモード、 動画撮影モードにする。P17
	●電源がオフになっている。	→電源をオンにする。P31
	●暗いところで撮影している。	→なるべく明るい場所で撮影する。
撮影できない。	●画像記録中、ストロボ充電中にシャッターボタンを押した。	→動作確認用ランプの点滅が終わってから撮影する。
	●静止画撮影時、 動画撮影モードになっている。	→モードスイッチを 静止画オート撮影モード、SCN静止画撮影シーンモードに切り替える P17
	●動画撮影時、 静止画オート撮影モード、SCN静止画撮影シーンモードになっている。	→モードスイッチを 動画撮影モードに切り替える。P48
	●オートパワーオフ機能 P31 がはたらき、電源がオフになった。	→もう一度電源をオンにする。P31
	●メモリー残量がない。	→内蔵メモリーまたはSDメモリーカード内の画像を消去する P56 か、別のSDメモリーカードと交換する P35 。 →画像サイズを小さくする。P80 →リサイズ、画質変更する。P114
	●SDメモリーカードのライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチが「LOCK」になっている。(液晶モニターに「カードロック」が表示)	→SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P36
	●SDメモリーカードのフォーマットが本機のフォーマット以外または「FAT」以外のフォーマットになっている。	→データをバックアップ後、SDメモリーカードを本機でフォーマットする。P121

症状	原因	処置
ストロボ撮影ができない。	●ストロボモードが 発光禁止モードになっている。	→ストロボモードをオートもしくは発光モードに切り替える。P42
	●被写体が明るい。	—
	●バッテリー残量が少ない場合は、ストロボ発光モードを選んでいても、ストロボを発光しない場合があります。	—
	●バッテリーが消耗している。	→バッテリーを充電する P30 か、十分に充電されたバッテリーを使う。
ストロボ撮影したのに、撮影画像が暗い。	●被写体が遠い。	→ストロボ連動範囲(約0.5m〜約1.8m(T)/約3.0m(W))で撮影する。
ストロボ撮影したら、撮影画像が白くなる。	●被写体が近い。	→ストロボ連動範囲(約0.5m〜約1.8m(T)/約3.0m(W))で撮影する。
画像がぼやけている。	●ストロボに指がかかっている。	→カメラを正しく構える。
	●被写体が近すぎる。	→撮影可能範囲(マクロ時:約5cm以上、標準時:約30cm以上)で撮影する。
	●レンズが汚れている。	→レンズをメンテナンスする。
	●画像ぶれ・手ぶれ	→しっかりとカメラを固定(三脚を使うなど)して撮影する。 →手ぶれ軽減モードを使用する。P74
画像にノイズがある。	●パソコンの近くや電磁波の強い場所で撮影している。	—
動画撮影時に撮影が途中でストップする。	●撮影に必要なメモリー残量がない。	→内蔵メモリーまたはSDメモリーカード内の画像を消去する P56 か、別のSDメモリーカードと交換する P35 。
静止画/動画が見れるのに撮影できない。	●バッテリーが消耗している。	→バッテリーを充電する P30 か、十分に充電されたバッテリーを使う。
内蔵フラッシュメモリー(32MB)に記録できない。	●SDメモリーカードが装着されている。	→電源をオフにしてSDメモリーカードを外す。P35

静止画・動画を見る

症状	原因	処置
再生できない。	●▶再生画面になっていない。	→▶を押して▶再生画面にする。P52
	●他のデジタルカメラで撮影した画像や、パソコンで名前を変更したり、加工した画像は本機で再生できない場合があります。	—

画像/データを消去する

症状	原因	処置
消去できない。	●SDメモリーカードのライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチが「LOCK」になっている。(液晶モニターに「カードロック」が表示)	→SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P36
	●画像プロテクトが設定されている。	→画像プロテクトの設定を解除する。P110
誤って消去してしまった。	●一度消去したファイルは元に戻せません。	—

テレビを使って再生/撮影する

症状	原因	処置
テレビに画像が表示されない。	●テレビの入力切り替えが正しく設定されていない。	→テレビの入力切り替えをビデオ入力モードにする。
	●AVケーブルが正しく接続されていない。	→テレビとカメラからAVケーブルを抜いて、もう一度しっかりと接続する。P61
テレビの画像が乱れている(カラーにならないなど)。	●[ビデオ出力]の設定が[PAL]になっている。	→[NTSC]に切り替える。P59

画像ファイルをパソコンにコピーする

症状	原因	処置
カメラがパソコンに認識されない。（[リムーバブルディスク]が表示されないなど）	●付属のUSBケーブルを使用していない。	→付属のUSBケーブルを使う。
	●USBケーブルが正しく接続されていない。	→パソコンとカメラからケーブルを抜いてもう一度しっかりと接続する。 →他のUSBポートに接続する。
	●パソコンのUSBポートに他の機器が接続されている。	→キーボード／マウス以外は取り外す。
	●本カメラの動作を妨げている他のドライバまたはカメラがある。 [デバイスマネージャ]を開き、[USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ]を確認してください。	→[USB大容量記憶デバイス]に、黄色い「！」マークが付いているときは、[USB大容量記憶デバイス]を[削除]してから、カメラを取り外し、もう一度接続し直す。
	●パソコンのUSB機能が有効になっていない。 [デバイスマネージャ]を開き、[USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ]を確認してください。	→[USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ]が表示されていないときは、USB機能は無効です。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照の上、有効に設定してください。 →[USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ]に黄色い「！」や赤い「×」マークが付いているときは、USB機能は動作していません。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照の上、有効に設定してください。
USB接続してもカメラの電源がオフになる。	●USBケーブルが正しく接続されていない。	→パソコンとカメラからケーブルを抜いて、もう一度しっかりと接続する。 →他のUSBポートに接続する。
	●カメラとパソコンをUSBハブ経由で接続している。	→USBハブなどを介さずにパソコン本体に直接接続する。
カメラを取り外したときに、警告メッセージが表示された。	●通信中にカメラを取り外した。	→内部のデータが破損する恐れがあります。 必ずカメラとパソコンが通信していないことを確認してから、カメラを取り外してください。
	●「カメラ取り外す」操作を行わないでカメラを取り外した。	→「カメラを取り外すときは」P129に従って操作する。

〈デバイスマネージャ〉

[デバイスマネージャ]は、[マイコンピュータ]から右クリックで[プロパティ]を選ぶか、[コントロールパネル]から[システム]をダブルクリックして、[システムのプロパティ]から開きます。

PictBridge対応プリンタでプリントする

症状	原因	処置
プリンタと接続できない。(認識しない、[PictBridge]メニューが表示されないなど)	●プリンタがPictBridgeに対応していない場合は、本機能は使用できません。	→詳しくはプリンタの取扱説明書で確認してください。
	●プリンタの電源がオフになっている。	→プリンタの電源をオンにする。
	●[USB]メニューで、[PC]を選んでいる。	→再度接続し直し、[PictBridge]を選ぶ。
	●接続状態によっては、接続が確立できない場合があります。（システムの誤動作など）	→USBケーブルを抜いて、接続し直す。プリンタにエラーが表示されている場合は、プリンタの取扱説明書をご参照ください。
プリントできない。	●プリンタがPictBridgeに対応していない場合は、本機能は使用できません。	→詳しくはプリンタの取扱説明書で確認してください。
	●USBケーブルが正しく接続されていない。	→プリンタとカメラからUSBケーブルを抜いて、もう一度しっかりと接続する。P136
	●プリンタのPictBrige接続用端子に接続されていない。	→PictBridge接続用端子に接続する。詳しくはプリンタの取扱説明書をご参照ください。
	●プリンタの電源がオフになっている。	→プリンタの電源をオンにする。
	●プリンタが何らかのエラーを起こしている。（液晶モニターにエラーメッセージが表示）	→接続しているプリンタの状態を確認する。
	●プリント中にカメラの電源をオフにした。	→USBケーブルを抜いて、接続し直す。それでも復帰しない場合は、USBケーブルをもう一度抜いて、プリンタの電源を入れ直してから再度接続し直してください。
プリントが途中で中断する。	●プリントが終了する前に、USBケーブルを抜くと、プリントが正しく終了しない場合があります。	—

症状	原因	処置
日付プリントができない。	●プリンタが日付プリントに対応していない場合は、日付プリントできません。	→詳しくはプリンタの取扱説明書で確認してください。
	●印刷可能な撮影日時情報が入っていない画像ファイルは、日付のプリントはできません。	—
フチなしや2分割、4分割プリントができない(選択できない)。	●プリンタが、フチなし、2分割、4分割プリントに対応していない場合は、フチなし、2分割、4分割プリントできません。	→詳しくはプリンタの取扱説明書で確認してください。
プリントしたい用紙サイズが選択できない。	●プリンタが指定した用紙サイズに対応していない場合は、選択できません。	→詳しくはプリンタの取扱説明書で確認してください。
プリントを中止すると他の操作ができない。	●プリンタが印刷中止を処理しているので、完了するまでお待ちください。(プリンタによって時間がかかる場合があります。)	—

その他

症状	原因	処置
言語が英語になっている。	●[言語(Language)]が[English]なっている。	→[言語]を[日本語]に切り替える。P64
液晶モニターに黒い点が現れる。または、白や赤、青、緑の点が消えない。	●液晶の性質による現象	→故障ではありません。液晶モニターのみに現れるもので、記録されません。
液晶モニターに光の帯が出る	●液晶の性質による現象	→故障ではありません。液晶モニターのみに現れるもので、記録されません。※動画像には記録されます。
カメラの操作ができない。(動作確認用ランプの点灯が消えないなど)	●内部システムやSDメモリーカードなどの誤動作	→バッテリーを取り外し、しばらく放置してからバッテリーを入れ直す。 →SDメモリーカードをカメラから取り出し、もう一度しっかりと入れる。P35 →別のSDメモリーカードと交換し、確認する。 →お買い上げご販売店へご相談ください。

症状	原因	処置
カメラの操作ができない。	●バッテリーが消耗している。	→バッテリーを充電する P30 か、十分に充電されたバッテリーを使う。
レンズが収納されない。	●バッテリーが消耗している。	→バッテリーを充電する P30 か、十分に充電されたバッテリーを使う。再度電源をオン/オフにしても、レンズが収納されない場合は、電源オン/オフの操作を数回繰り返して行ってください。
ディスプレイ表示が突然消える。	●オートパワーオフ機能 P31 がはたらいた。	—

警告表示など

表示	原因	処置
カードロック	●SDメモリーカードのライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチが「LOCK」になっている。	→SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P36
プロテクトされています	●画像プロテクトが設定されている。	→画像プロテクトの設定を解除する。P110
メモリー残量がありません	●内蔵メモリーのメモリー残量がない。	→内蔵メモリーまたはSDメモリーカード内の画像を消去する P56 か、別のSDメモリーカードと交換する P35 。 →画像サイズを小さくする。P80 →リサイズ、画質変更する。P114
カード残量がありません	●SDメモリーカードのメモリー残量がない。	
画像がありません	●再生できる画像ファイルが入っていない。	→本機で撮影する。
プリントエラー	●接続しているプリンタが、用紙切れエラーを起こしている。	→接続しているプリンタの状態を確認する。
	●接続しているプリンタが、インク切れエラーを起こしている。	→接続しているプリンタの状態を確認する。
	●接続しているプリンタが、紙詰まりエラーを起こしている。	→接続しているプリンタの状態を確認する。
	●接続しているが、何らかのエラーを起こしている。	→接続しているプリンタの状態(用紙関連やインク関連を含む)を確認する。 →プリントしたい画像が壊れていないか確認する。

■ メニュー項目と設定内容

【　】：初期設定

動作モード	メニュー	設定項目	参照	設定内容
静止画オート撮影モード／SCN静止画撮影シーンモード	撮影メニュー	画像サイズ	P80	【12M】／8M／4M／2M／0.3M
		ISO	P84	【オート】／100／200／400／800／1600
		画質	P81	【ファイン】／スタンダード／エコノミー
		ホワイトバランス	P86	【オート】／白熱灯／蛍光灯1／蛍光灯2／晴天／曇天／マニュアル
		シャープネス	P90	ハード／【スタンダード】／ソフト
		色効果	P92	【スタンダード】／ビビット／セピア／白黒／ブルー／レッド／グリーン／イエロー／パープル
		コントラスト	P94	高／【中】／低
		測光方式	P96	【マルチ】／スポット／アベレージ
	機能メニュー	撮影モード	P98	【シングル】／連写／AE連写／アルバム撮影／マニュアル連写／フラッシュ連写
		デジタルズーム	P45	【オン】／オフ
		プレビュー	P73	【オン】／オフ
		日付プリント	P105	オン／【オフ】
動画撮影モード	撮影メニュー	画像サイズ	P80	【VGA】／QVGA
		画質	P81	【ファイン】／スタンダード
		色効果	P92	【スタンダード】／ビビット／セピア／白黒／ブルー／レッド／グリーン／イエロー／パープル
	機能メニュー	音声	P50	【オン】／オフ
		デジタルズーム	P45	【オン】／オフ

動作モード	メニュー	設定項目	参照	設定内容
再生画面	再生メニュー	赤目補正	P107	撮影後に赤目を補正します。
		スライドショー	P109	【3秒】／5秒／10秒
		画像回転	P54	【右90°】／左90°
		画像プロテクト	P110	画像プロテクト設定画面を表示します。
		音声メモ	P118	オン／【オフ】
		リサイズ	P114	画像サイズを変更します。
		画質変更	P115	画質を変更します。
		カードへコピー	P116	内蔵メモリーからSDメモリーカードへ画像をコピーします。
静止画オート撮影モード／SCN静止画撮影シーンモード／動画撮影モード／再生画面	設定メニュー	日付／時刻	P32	日付／時刻の設定画面を表示します。
		言語	P64	日本語／English（英語）／Français（フランス語）／Deutsch（ドイツ語）／Español（スペイン語）／Italiano（イタリア語）／Português（ポルトガル語）／Nederlands（オランダ語）／Русский（ロシア語）／繁體中文（中国語1）／简体中文（中国語2）／／
		オートパワーオフ	P66	【1分】／2分／3分／オフ
		操作音	P68	【オン】／オフ
		画面表示	P69	【標準】／全表示／オフ
		ビデオ出力	P59	【NTSC】／PAL
		ファイル番号リセット	P70	画像ファイル番号をリセットします。
		周波数	P34	【50Hz】／60Hz
		液晶の明るさ	P72	−5／−4／−3／−2／−1／【0】／+1／+2／+3／+4／+5
		フォーマット	P121	内蔵メモリー／SDメモリーカードをフォーマットします。
		メモリー情報	P35	使用メモリーのサイズ、メモリー残量を表示します
		システム情報		バージョン情報を表示します。
		初期設定に戻す	P37	各設定内容を初期設定に戻します。

■ 仕様

項目		内容
有効画素数		約1200万画素
撮像素子		1/2.33インチCCDイメージセンサー（総画素数：約1270万画素）
記録媒体		SDメモリーカード（32/64/128/256/512MB/1/2/4/8/16GB（SDHC）対応）（※1） 内蔵32MBフラッシュメモリー（※2）
静止画	記録画像ファイルフォーマット	JPEG準拠（DCF2.0、EXIF2.2準拠）
	記録画素数	3968×2976ピクセル(約1200万画素)／3264×2448ピクセル(約800万画素)／2304×1728ピクセル(約400万画素)／1600×1200ピクセル(約200万画素)／640×480ピクセル(約30万画素)
	圧縮率	ファイン（低圧縮（1/4）モード）／スタンダード（標準圧縮（1/8）モード）／エコノミー（高圧縮（1/12）モード）
動画	記録画像ファイルフォーマット	AVI（画像データ：Motion JPEG、音声：WAV（モノラル））
	記録画素数	640×480ピクセル／320×240ピクセル
	圧縮率	ファイン／スタンダード
	フレームレート	30フレーム/秒
音声ファイルフォーマット		WAV（PCM方式）、モノラル
レンズ	構成	6群7枚（非球面レンズ4枚）
	焦点距離［35mmフイルム換算］	f=5.8（W）～23.2（T）mm［約32～128mm］
	F値（最大値）	F2.5（W）～5.6（T）
オートフォーカス方式		TTLコントラスト方式
ズーム		光学ズーム：4倍、デジタルズーム：6倍（光学ズーム併用時最大24倍）
液晶モニター		3.0型低温ポリシリコンTFTカラー液晶、 約23万画素（960×240ピクセル）
撮影可能範囲		標準：約30（W）/約50（T）cm～∞、マクロ：約5(W)/50(T)cm～∞
シャッター		電子シャッター、2～1/2000秒
撮像感度		オート／ISO64／100／200／400／800／1600相当
測光方式		マルチ／スポット／アベレージ測光
露出	制御方式	プログラムAE
	補正	−2.0EV～+2.0EV（1/3EVステップ）
ホワイトバランス		オート／プリセット（白熱灯／蛍光灯1／蛍光灯2／晴天／雲天）／マニュアル
ストロボ	連動範囲（推奨）	約0.5m～約3.0（W）/約1.8（T）m
	発光モード	オート／フラッシュオン／フラッシュオフ／赤目軽減／夜景フラッシュ
マイク／スピーカー		内蔵型／内蔵型（モノラル）
セルフタイマー		約2秒／10秒／10+2秒／オフ
撮影モード		シングル（通常）撮影、連写撮影（3枚）、AE連写撮影（3枚）、 アルバム撮影、マニュアル連写、フラッシュ連写、動画（音声付き）撮影
再生モード		シングル再生（1倍～4倍（0.5ステップ））、画像回転、 スライドショー再生、音声メモ再生、動画再生
ダイレクトプリント		PictBridge対応
オートパワーオフ		1分間／2分間／3分間／オフ
インターフェース		USB端子（USB（2.0仕様）、AV出力（NTSC/PAL））
電源		専用充電式リチウムイオンバッテリー 専用ACアダプター（付属、AC100V～240V対応）
外形寸法		幅94.4×奥行19.2×高さ57.0mm（突起部除く）
質量		約126g（バッテリー、付属品除く）
使用条件		0℃～40℃、湿度90%以下（結露しないこと）

（※1）SDメモリーカードは別売です。（株）アイ・オー・データ機器、（株）ハギワラシスコムのSDメモリーカードを推奨します。
（※2）内蔵フラッシュメモリーは一部プログラムファイルが格納されているため、記憶可能領域は約26MBです。

付属品

専用AVケーブル、専用USBケーブル、ネックストラップ、カメラポーチ、専用充電式リチウムイオンバッテリー（HLB-4）、専用ACアダプター（HDC-1241-001）、専用充電器（HDC-1241-002）、取扱説明書（保証書付）

画像記録枚数・時間（※3）

記録画素数（ピクセル）	JPEG圧縮率	1コマのデータサイズ	内蔵32MBフラッシュメモリー	SDメモリーカード1GB（別売）
3968×2976（約1200万画素）	ファイン	約3,654KB	約3枚	約165枚
	スタンダード	約2,814KB	約9枚	約383枚
	エコノミー	約2,034KB	約11枚	約445枚
3264×2448（約800万画素）	ファイン	約2,816KB	約5枚	約228枚
	スタンダード	約2,036KB	約13枚	約511枚
	エコノミー	約1,699KB	約15枚	約610枚
2304×1728（約400万画素）	ファイン	約1,371KB	約17枚	約667枚
	スタンダード	約1,147KB	約22枚	約866枚
	エコノミー	約1,024KB	約24枚	約929枚
1600×1200（約200万画素）	ファイン	約559KB	約39枚	約1,474枚
	スタンダード	約463KB	約43枚	約1,621枚
	エコノミー	約403KB	約48枚	約1,837枚
640×480（約30万画素）	ファイン	約159KB	約136枚	約5,111枚
	スタンダード	約138KB	約141枚	約5,287枚
	エコノミー	約113KB	約163枚	約6,108枚
640×480【動画】	ファイン	約64KB	約29秒	約18分24秒
	スタンダード	約57KB	約42秒	約26分42秒
320×240【動画】	ファイン	約23KB	約1分38秒	約1時間1分11秒
	スタンダード	約20KB	約1分56秒	約1時間12分25秒

（※3）画像記録枚数・時間はあくまでも目安であり、被写体や撮影条件によって異なります。

バッテリー性能（電池寿命の目安）（※4）

使用電池	撮影可能枚数 CIPA（※5）	再生時間（※6）
充電式リチウムイオンバッテリー　（付属）	約120枚	約90分

（※4）標準環境において、液晶モニターオン、SDメモリーカード使用、未使用電池を使用し、以下の条件で撮影・再生した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証撮影枚数・時間ではありません。ご使用の状況や環境によって少ない数値になる場合があります。
（※5）CIPA（カメラ映像機器工業会）規格による撮影条件
・30秒間隔でズームのワイド端（広角側）とテレ端（望遠側）で交互に撮影
・ストロボを2回に1回発光
・10枚撮影ごとに電源をオフにし、バッテリーをはずして10分間放置
（※6）約3秒１コマを連続で再生した場合

専用充電式リチウムイオンバッテリー（HLB-4）

定格電圧	3.7V
定格容量	650mAh
使用温度	0℃～40℃
外形寸法	幅31.4×奥行5.9×高さ39.6mm
質量	約16g

・**バッテリー使用時のご注意** P13 をあわせてお読みください。
・本バッテリーは別売アクセサリーとしてお求め頂けます。

専用ACアダプター（HDC-1241-001）

定格入力	AC100～240V（50Hz／60Hz）
定格出力	DC600mA/5.0V
使用温度	0℃～40℃
外形寸法	幅41.9×奥行18.1×高さ65.6mm（突起部・コード部除く）
質量	約55g

・**ACアダプター／充電器使用時のご注意** P12 をあわせてお読みください。
・本ACアダプターは別売アクセサリーとしてお求め頂けます。

専用充電器（HDC-1241-002）

定格入力	DC5～6.5V（50Hz／60Hz）
定格出力	DC500mA/4.2±0.05V
使用温度	0℃～40℃
外形寸法	幅42×奥行74×高さ17.5mm（突起部除く）
質量	約35g

・**ACアダプター／充電器使用時のご注意** P12 をあわせてお読みください。
・本充電器は別売アクセサリーとしてお求め頂けます。

■ 索引

■ メモリー（SDメモリーカード）内のフォルダ構造

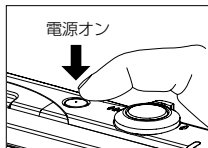
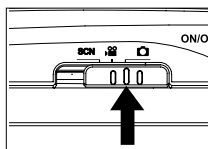
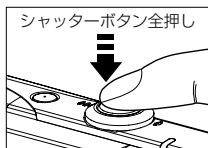
```
DCIM
│
├─ 100_HCAM ──── 記録フォルダ
│    HIMG0001.jpg ── 静止画像ファイル
│    HIMG0002.avi ── 動画像ファイル
│    HIMG0003.jpg ── ボイスメモ（音声）付き静止画の静止画像ファイル
│    HIMG0003.wav ── ボイスメモ（音声）付き静止画の音声ファイル
│     ・
│     ・
│     ・
├─ 101_HCAM ──── 記録フォルダ（※1）
├─ 102_HCAM ──── 記録フォルダ（※1）
│   ・
│   ・
│   ・
```

（※1）フォルダの通し番号101以降はファイル番号をリセットする操作を行った場合や、ファイルの通し番号が9999を超えた場合に作成されます。

家電品についてのご相談や修理は お買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコーセンターへ
TEL 0120－3121－68
FAX 0120－3121－87
（受付時間）9:00～19:00（365日）／携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ
TEL 0120－8802－28
FAX 03－3260－9739
（受付時間）9:00～17:30／携帯電話、PHSからもご利用できます。土曜・日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

株式会社日立リビングサプライ：ホームページアドレス
http://www.hitachi-ls.co.jp/

撮影する 詳しくは**静止画を撮る** P39 をご覧ください。

- 電源をオンにする前に、**バッテリーを充電する** P30 に従って、バッテリーを充電してください。
- SDメモリーカードを使う場合は、**SDメモリーカードを使う場合** P35 に従って、電源をオンにする前にSDメモリーカードを挿入してください。
- 初めてお使いになる場合や、電池をはずして長時間保管されていた場合などは内部時計がリセットされ、正しい日付／時刻が表示されない場合があります。その場合や一度設定した内容を合わせ直す場合は、**日付／時刻を合わせる** P32 の手順で日付／時刻を設定してください。

1

電源ボタンを押し、電源をオンにします。

電源のオン／オフ P31

2

モードスイッチを📷にします。

レンズが出て液晶モニターに被写体が写ります。

3

両手でカメラを構え、被写体が液晶モニターに収まるように、構図を決めます。

4

被写体をフォーカスフレームに合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます（フォーカスロック）。

5

半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。

シャッターが切れます。

撮影した画像を見る 詳しくは**静止画／動画を見る** P52 をご覧ください。

撮影した静止画や動画は液晶モニターで再生できます。再生方法にはシングル再生の他に、ズーム再生（1.5倍～4倍（0.5ステップ））P53、画像回転 P54、動画再生 P55、スライドショー再生 P109、音声メモ再生 P120 があります。

1

電源ボタンを押し、電源をオンにします。

電源のオン／オフ P31

2

▶を押して再生画面にします。

最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

3

【◀】【▶】で画像を選びます。**コントロールパネル** P18

・動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。

【◀】

【▶】

【▲】【▼】で10枚単位で画像を送ることができます。

【▲】10枚後の画像に送ります。

【▼】10枚前の画像に送ります。

付録 クイックスタートガイド「とにかく使ってみる」